



一宮市保育所等施設総合管理計画

(2019～2028 年度)

平成 31 年 3 月

一 宮 市



目 次

第1章 計画の策定にあたって	1
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 対象施設	2
4. 計画期間	2
5. 一宮市公共施設等総合管理計画における基本的な考え方	2
第2章 人口の動向と将来推計	3
1. 人口の現状と将来の見通し	3
2. 就学前児童数の現状と将来の見通し	6
第3章 公立保育園の現状と課題	8
1. 公立保育園の施設の現状	8
2. 公立保育園の今後の課題	10
第4章 幼稚園・保育園等の児童数の現状	12
1. 幼稚園の現状	12
2. 保育園等の現状	14
第5章 教育・保育ニーズ量の将来推計	18
1. 待機児童数の状況	18
2. 教育及び保育ニーズ量の将来推計	18
第6章 公立保育園の施設整備計画	20
1. 最適配置に向けた課題のまとめ	20
2. 今後の施設整備に向けた基本的な考え方	22
3. 施設整備の形態	24
4. 施設保全（長寿命化）の進め方	25
5. 施設整備の進め方	26
資料編	
1. 就学前児童を含む5歳階級の将来推計結果	資-1
2. 公立保育園一覧	資-2
3. 民間事業者の意向把握	資-3
4. ブロック別の状況	資-7

※児童福祉法においては「保育所」が正式名称ですが、本計画では一般的に親しまれている「保育園」と表記します。

第1章 計画の策定にあたって

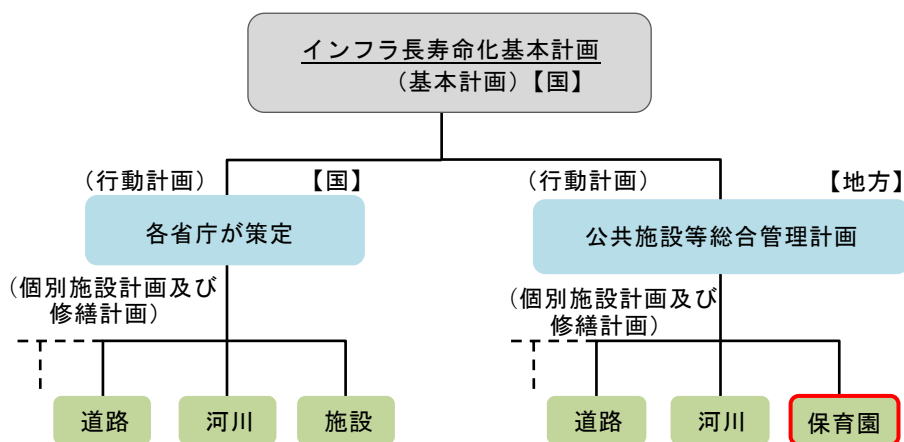
1. 計画策定の趣旨

一宮市においては、厳しい財政状況が続くなか、今後の人口減少等により公共施設の利用需要が変化していくことが予想されています。それに伴い、公共建築物や土木インフラなどの公共施設等の維持管理が変化していくことが予想されています。公共建築物や土木インフラなどの公共施設等の維持管理・更新についても、財政負担を適切に軽減・平準化し、都市の持続的な発展を見据えた最適配置の実現が求められています。

本計画は、過年度に実施した「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョン」及び「一宮市公共施設等総合管理計画」の成果に基づき、保育園等の乳幼児施設についておおむね 40 年後の就学前人口や保育需要等の推計を視野に評価・分析を行い、最適なコストと資産の利活用を図る「ファシリティマネジメント」の推進に向け、乳幼児施設の再配置等の基本的な考え方を整理し、公立施設を中心に今後 10 年間の総合的な管理計画を策定するものです。

2. 計画の位置づけ

保育園等の乳幼児施設について定める本計画は、「一宮市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画に位置付けられることになります。また、本計画は「一宮市公共施設等総合管理計画」の基本方針を受けるとともに、幼児期の教育・保育や地域子ども・子育て支援事業の計画的な提供体制確保の方策を定めた「一宮市子ども・子育て支援事業計画」との整合性を図っていきます。



■ 公共施設等総合管理計画の体系図

公共建築物の縮減目標（一宮市公共施設等総合管理計画）

公共建築物の延床面積を今後 40 年間で 15%縮減する（約 15 万㎡）

施設の長寿命化（80 年使用を目標）が前提

3. 対象施設

本計画は、市が保有する公立保育園のほか、私立保育園（分園を含む）、私立幼稚園、認定こども園、地域型保育事業所を対象施設とします。

■対象施設一覧表

(2018 年 4 月 1 日現在)

分 類	施設数	入所人数
公立保育園	53	6,359
私立保育園	16	1,841
私立幼稚園	24	4,247
認定こども園	1	93
地域型保育事業所	10	125
合 計	104	12,665

4. 計画期間

本計画の上位計画である「一宮市公共施設等総合管理計画」では、平成 29 年度(2017 年度)から平成 38 年度(2026 年度)までの 10 年間を計画期間とし、長中期的な視点から、更新費用や財政見込みを試算する将来の見通し期間は平成 29 年度(2017 年度)から平成 68 年度(2056 年度)までの 40 年間としています。

このことから、本計画についても 40 年後の人口推計等を見据えつつ、平成 31 年度(2019 年度)から平成 40 年度(2028 年度)までの 10 年間を計画期間とし、平成 38 年度(2026 年度)に行われる「一宮市公共施設等総合管理計画」の見直し後、整合性を取りながら更新を行います。

5. 一宮市公共施設等総合管理計画における基本的な考え方

一宮市公共施設等総合管理計画では、施設類型ごとの管理に関する基本方針として、子育て支援施設のうち保育園については、計画推進の基本的な考え方を以下の通り示しています。

- ・ 将来的な園児数の動向や市民ニーズに応じて、保育園の適正配置、他施設との複合化を検討します。
- ・ 保育需要の変動にあわせて、既存施設の改修利用に努めます。また、大規模修繕計画を策定し、施設の適正な維持管理に努めます。
- ・ 共働き世帯やひとり親家庭の増加等により、今後増加する保育需要に対し、平成 27 年 3 月に策定した「一宮市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、より良いサービスの提供に努めるとともに、行政と民間の役割分担の適正化を進めます。

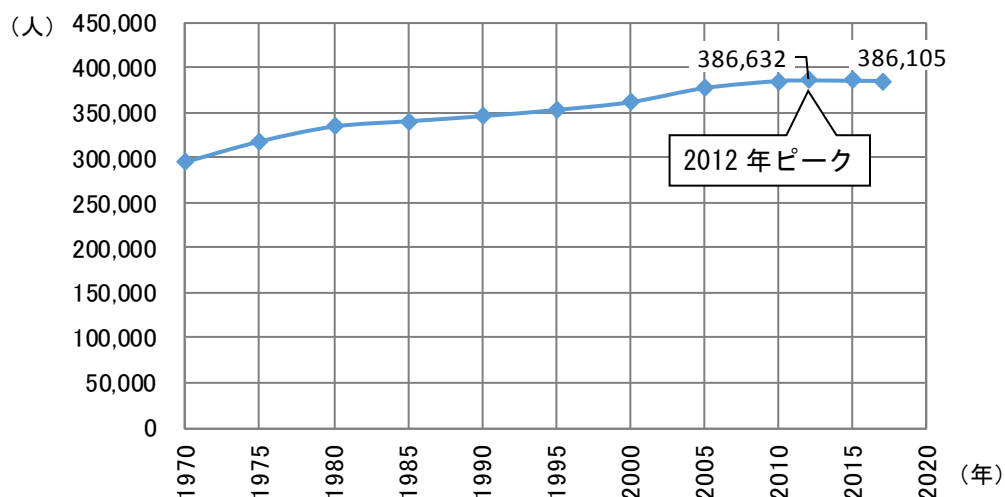


第2章 人口の動向と将来推計

1. 人口の現状と将来の見通し

(1) 人口の推移

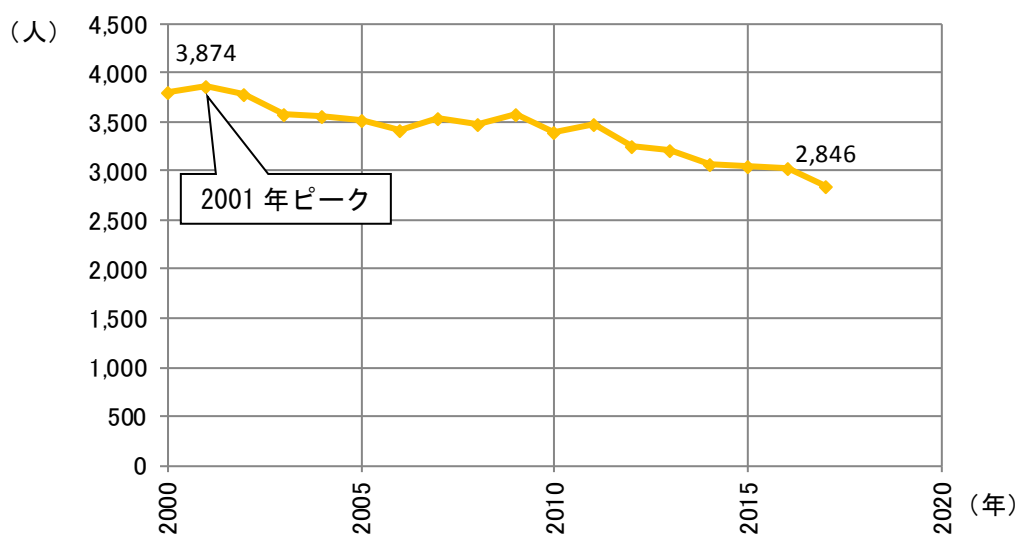
本市では、戦後から1980年頃までは人口が急増しましたが、それ以降は緩やかな増加傾向に変わり、2012年に最も多い386,632人に達して以降、現在まで、緩やかな人口減少局面に入っています。



■総人口の推移（1970年～2017年）

(2) 出生の動向

本市における出生の動向は、出生率の低下や母親世代人口の減少の影響により、2001年以降は、出生数は減少傾向にあります。



■出生数の推移（2000年～2017年）

(3) 将来人口の見通し

① 将来人口推計に係る条件設定

本計画では、「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョン」（平成 28 年 2 月策定）における「市独自推計⑨」のパターンを参考に将来人口の推計を行いました。推計にあたり設定した条件を以下に示します。

■ 本計画における将来人口推計の条件設定

基 準 人 口：2018 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳における人口

合計特殊出生率：2018 年の「1.40」（2017 年の実績値（一宮市の人口動態より））から、2040 年の「1.80※」（人口ビジョンより）まで比例的に上昇し、以降は「1.80」のままであると仮定

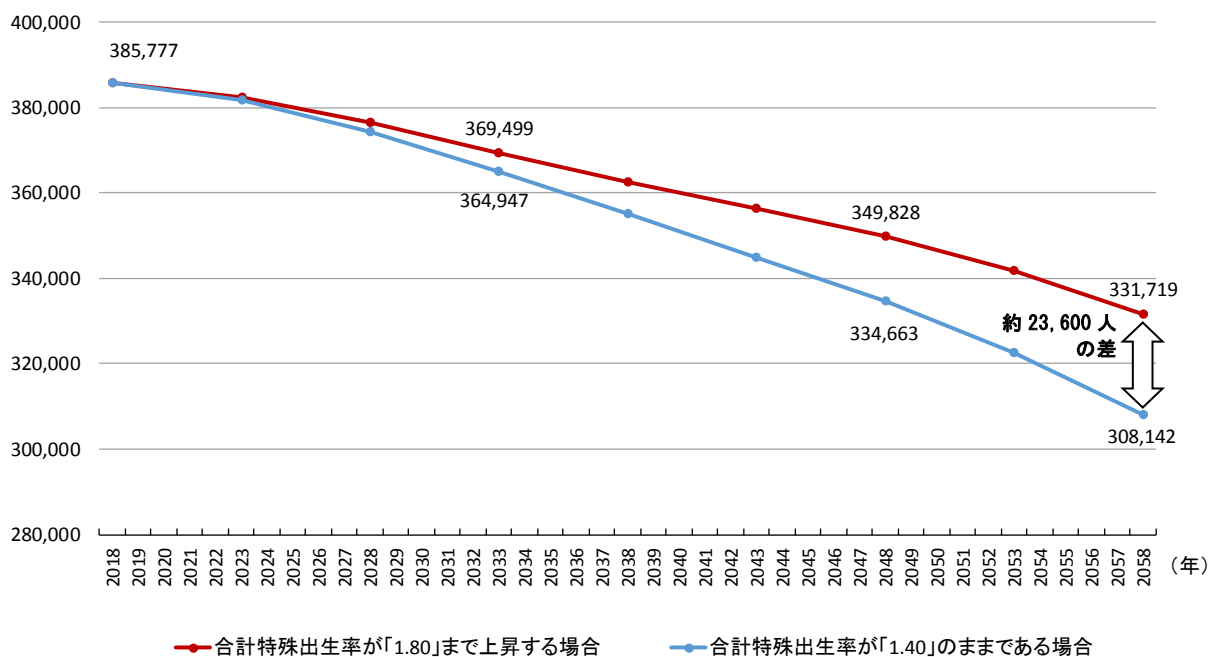
移 動 率：国立社会保障・人口問題研究所による日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）で用いられている本市の純移動率

※愛知県では、若い世代の結婚・子育ての希望が実現した場合の出生率を「1.80」としている。

② 本市における将来人口の推計結果

本市における 2018 年から 40 年後の 2058 年までの将来人口の見通しは、2058 年では 331,719 人となり、2018 年と比較すると約 54,000 人減少する見込みとなっています。なお、合計特殊出生率が上昇せず「1.40」のままであると仮定した場合、2058 年では 308,142 人となり、合計特殊出生率が「1.80」まで上昇した場合と比較すると約 23,600 人の差が生じます。

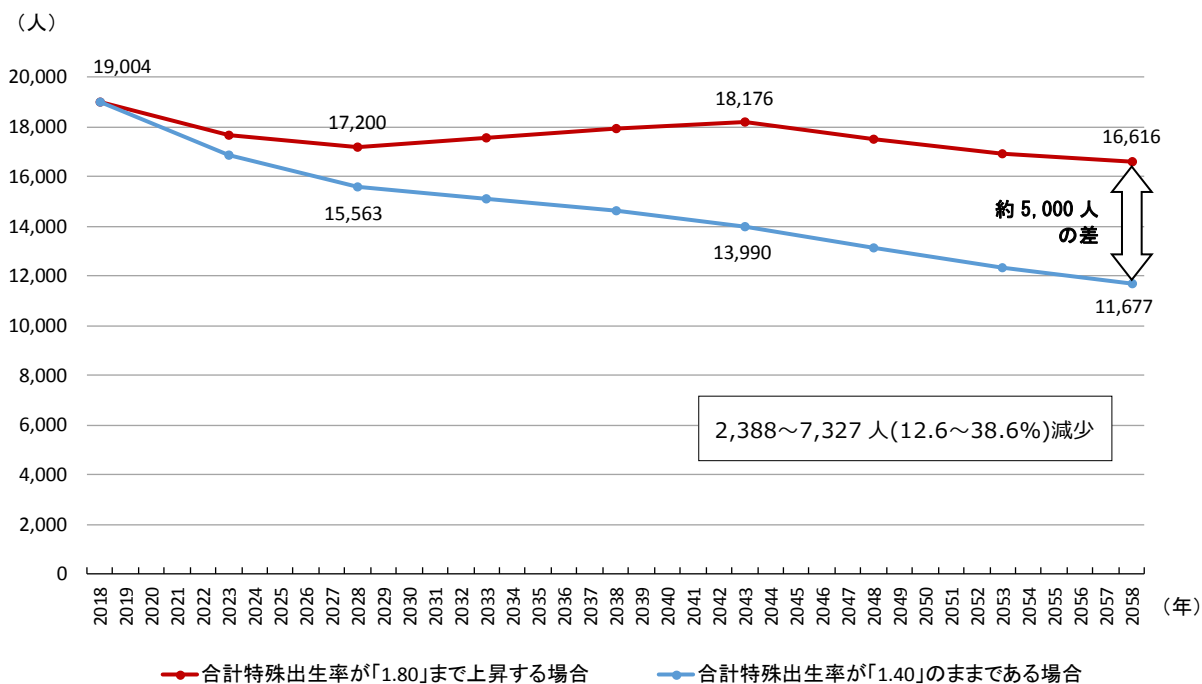
(人)



■ 将来人口の見通し（2018 年～2058 年）

③本市における将来の就学前児童数（0～5 歳児）の推計結果

本市における 2018 年から 40 年後の 2058 年までの将来の就学前児童数（0～5 歳児）の見通しは、2058 年では 16,616 人となり、2018 年と比較すると約 2,400 人（▲12.6%）減少する見込みとなっています。なお、合計特殊出生率が上昇せず「1.40」のままであると仮定した場合、2058 年では 11,677 人となり、2018 年と比較すると約 7,300 人（▲38.6%）減少し、合計特殊出生率が「1.80」まで上昇した場合と比較すると約 5,000 人の差が生じます。



■将来の就学前児童数（0～5 歳児）の見通し（2018 年～2058 年）

⇒仮に出生率が上昇した場合であっても総人口は減少傾向となる一方で、出生率の影響を直接的に受けやすい就学前児童数は、出生率の上昇に合わせて増加する可能性もありますが、少子化の影響により既に出産する世代が減少してしまっているため、いずれにしても 40 年後には就学前児童数が減少する結果となります。



２．就学前児童数の現状と将来の見通し

（１）就学前児童数の推移

本市における 2009 年から 2018 年までの 10 年間の就学前児童数（0～5 歳児）の推移は、以下のとおりとなります。

就学前児童数は緩やかに減少しており、2018 年では 19,004 人となり、2009 年と比較すると約 3,000 人減少しています。

【年齢別の就学前児童数の推移（市全体）】

（単位：人）

年齢	平成 21 年 (2009 年)	平成 22 年 (2010 年)	平成 23 年 (2011 年)	平成 24 年 (2012 年)	平成 25 年 (2013 年)	平成 26 年 (2014 年)	平成 27 年 (2015 年)	平成 28 年 (2016 年)	平成 29 年 (2017 年)	平成 30 年 (2018 年)
0 歳	3,539	3,450	3,430	3,330	3,162	3,108	3,087	3,000	2,973	2,765
1 歳	3,602	3,651	3,555	3,530	3,420	3,275	3,199	3,151	3,104	3,090
2 歳	3,688	3,633	3,689	3,583	3,531	3,456	3,306	3,231	3,194	3,181
3 歳	3,562	3,761	3,684	3,729	3,570	3,538	3,461	3,349	3,287	3,236
4 歳	3,772	3,596	3,774	3,694	3,720	3,562	3,534	3,475	3,381	3,328
5 歳	3,771	3,787	3,609	3,788	3,688	3,734	3,555	3,542	3,500	3,404
合計	21,934	21,878	21,741	21,654	21,091	20,673	20,142	19,748	19,439	19,004

住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）より

（２）就学前児童数の将来推計

2018 年から 40 年後の 2058 年までの就学前児童数（0～5 歳児）の見通しは、以下のとおりとなります。

市全体での将来の就学前児童数は、合計特殊出生率が「1.80」まで上昇した場合、2058 年では 16,616 人となり、2018 年と比較すると約 2,400 人減少する見込みとなっています。

一方で、合計特殊出生率が上昇せず「1.40」のままであると仮定した場合、2058 年では 11,677 人となり、2018 年と比較すると約 7,300 人減少する見込みとなっています。

【年齢別の就学前児童数の将来推計（市全体）】

（単位：人）

年齢	実績値	推計値			
	平成 30 年 (2018 年)	平成 40 年 (2028 年)	平成 50 年 (2038 年)	平成 60 年 (2048 年)	平成 70 年 (2058 年)
0 歳	2,765	2,330 ～ 2,598	2,204 ～ 2,726	1,967 ～ 2,631	1,751 ～ 2,509
1 歳	3,090	2,562 ～ 2,853	2,421 ～ 2,994	2,160 ～ 2,896	1,926 ～ 2,754
2 歳	3,181	2,638 ～ 2,945	2,497 ～ 3,088	2,232 ～ 2,979	1,984 ～ 2,841
3 歳	3,236	2,678 ～ 2,985	2,532 ～ 3,131	2,261 ～ 3,022	2,011 ～ 2,882
4 歳	3,328	2,775 ～ 3,089	2,625 ～ 3,242	2,339 ～ 3,131	2,083 ～ 2,982
5 歳	3,404	2,580 ～ 2,730	2,352 ～ 2,756	2,186 ～ 2,863	1,922 ～ 2,648
合計	19,004	15,563 ～ 17,200	14,631 ～ 17,937	13,145 ～ 17,522	11,677 ～ 16,616

2018 年は住民基本台帳（2018 年 4 月 1 日現在）より

連区別の将来の就学前児童数は、ほとんどの連区において、40 年後に減少する傾向を示しています。

【連区別の就学前児童数の将来推計】

(単位：人)

連区名	実績値	推計値				
	平成 30 年 (2018 年)	平成 40 年 (2028 年)	平成 50 年 (2038 年)	平成 60 年 (2048 年)	平成 70 年 (2058 年)	
宮西	500	453 ～ 500	421 ～ 516	382 ～ 508	335 ～ 475	
貴船	491	510 ～ 565	483 ～ 593	426 ～ 569	362 ～ 522	
神山	875	652 ～ 721	596 ～ 732	529 ～ 709	485 ～ 690	
大志	205	182 ～ 204	166 ～ 202	152 ～ 203	136 ～ 191	
向山	567	398 ～ 438	371 ～ 452	344 ～ 457	315 ～ 445	
富士	481	401 ～ 443	373 ～ 457	335 ～ 446	301 ～ 427	
葉栗	698	637 ～ 702	602 ～ 739	561 ～ 746	478 ～ 682	
西成	1,721	1,341 ～ 1,482	1,273 ～ 1,560	1,180 ～ 1,569	1,035 ～ 1,468	
丹陽町	1,794	1,297 ～ 1,436	1,207 ～ 1,482	1,082 ～ 1,444	982 ～ 1,399	
浅井町	771	735 ～ 810	688 ～ 844	626 ～ 835	545 ～ 776	
北方町	384	335 ～ 371	319 ～ 393	288 ～ 382	250 ～ 357	
大和町	2,256	1,770 ～ 1,958	1,650 ～ 2,026	1,456 ～ 1,945	1,320 ～ 1,880	
今伊勢町	1,497	1,136 ～ 1,257	1,066 ～ 1,305	934 ～ 1,245	851 ～ 1,209	
奥町	677	597 ～ 661	577 ～ 708	524 ～ 698	455 ～ 647	
萩原町	800	669 ～ 741	643 ～ 788	572 ～ 764	498 ～ 713	
千秋町	821	679 ～ 751	644 ～ 790	592 ～ 788	521 ～ 736	
起	155	128 ～ 140	121 ～ 148	105 ～ 140	94 ～ 136	
小信中島	595	473 ～ 522	447 ～ 547	410 ～ 543	359 ～ 510	
三条	654	577 ～ 636	546 ～ 667	489 ～ 655	431 ～ 615	
大徳	403	396 ～ 437	378 ～ 461	333 ～ 443	291 ～ 415	
朝日	416	428 ～ 472	401 ～ 492	363 ～ 483	307 ～ 440	
開明	364	317 ～ 350	298 ～ 365	258 ～ 343	229 ～ 325	
木曽川町	1,879	1,452 ～ 1,603	1,361 ～ 1,670	1,204 ～ 1,607	1,097 ～ 1,558	
合計	19,004	15,563 ～ 17,200	14,631 ～ 17,937	13,145 ～ 17,522	11,677 ～ 16,616	

2018 年は住民基本台帳（2018 年 4 月 1 日現在）より

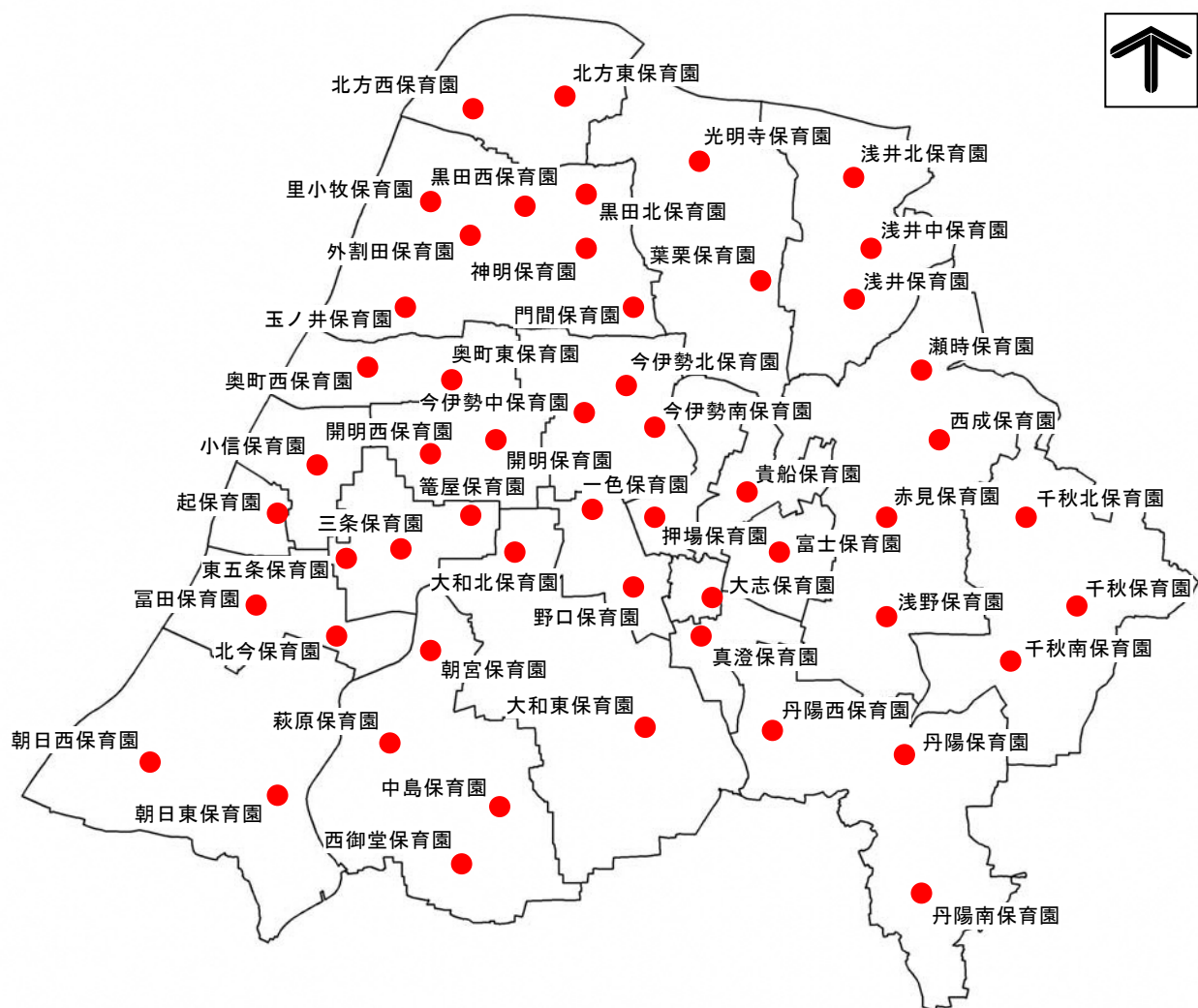
⇒少子化の進展により、就学前児童数は過去 5 年間で 2,000 人減少し 19,004 人となっています。子育て支援策の充実により出生率が 1.80 まで上昇した場合には、10 年後から増加に転じますが、ピーク時でも現時点よりは増加せず、40 年後には 16,616 人となる見込みです。一方で、現在の出生率である 1.40 で推移した場合は、11,677 人まで減少する見込みとなっています。

第3章 公立保育園の現状と課題

1. 公立保育園の施設の現状

(1) 公立保育園の概要

市が保有・運営する公立保育園の配置状況を以下に示します。



また、公立保育園の構造と築年数は以下のとおりです。大半の建物が築30年以上を経過しています。

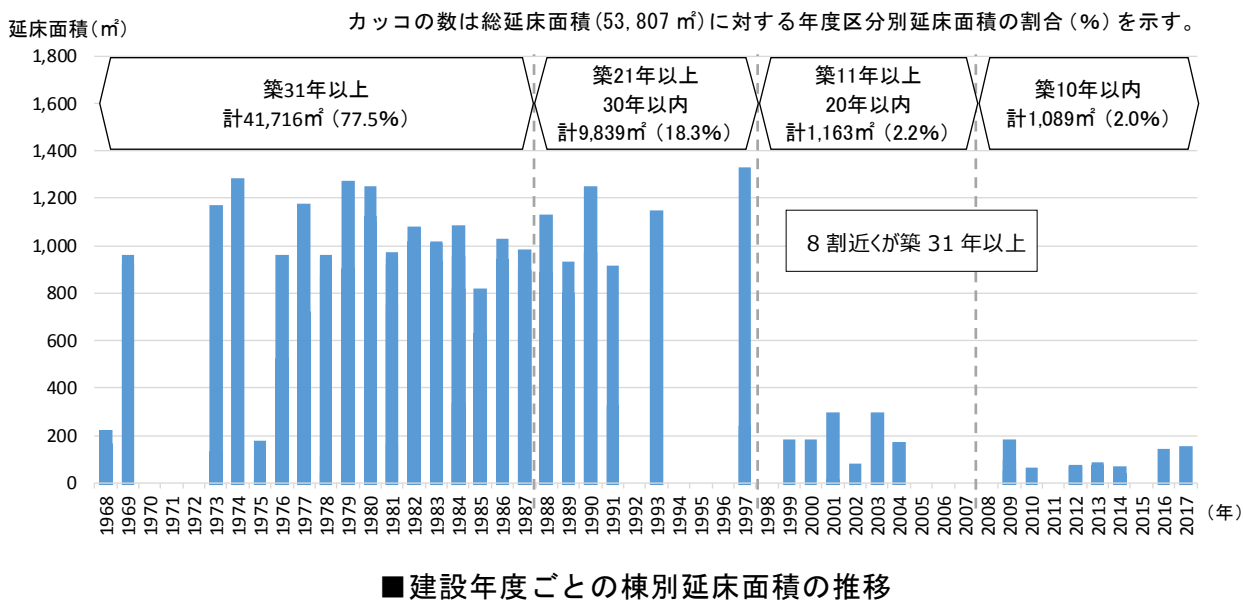
■公立保育園の構造と築年数

(2018年4月1日現在)

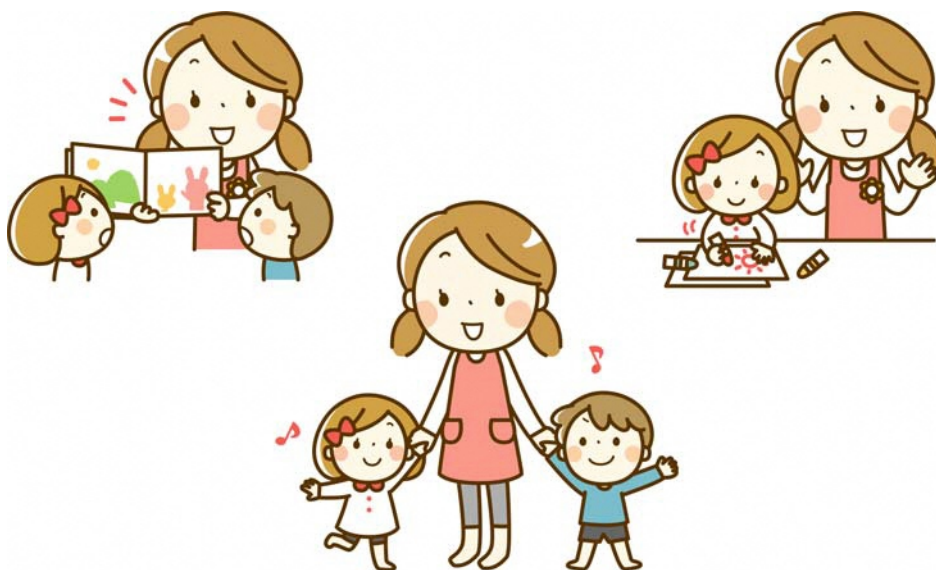
構 造	施設数	内 訳		
		築30年未満	～築40年未満	築40年以上
鉄筋コンクリート造	44	7	32	5
鉄骨造	2	0	0	2
木造	7	0	2	5

(2) 公立保育園の整備状況

公立保育園の年度別整備状況を面積ベースでみると、1973（昭和 48）年度から 1993（平成 5）年度までの 20 年間に集中的に整備された施設が大半を占めています。面積ベースでは 8 割近くの施設で建築後の経過年数が 31 年以上となっており、全体的に老朽化が目立っています。（詳細は、資料編 2 ページ参照）



⇒過去に集中的に整備された公立保育園は、全体的に老朽化が進行していますので、今後、一斉に大規模改修や建替えの時期を迎えることが課題となっています。



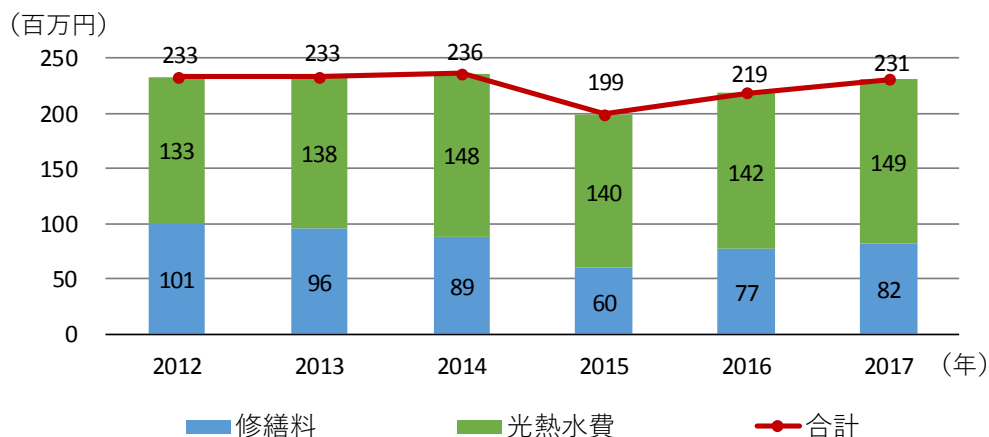
2. 公立保育園の今後の課題

(1) 公立保育園の運営状況

公立保育園の運営状況として、2012 年から 2017 年までの 6 年間の維持管理費及び大規模改修費を以下に整理します。

①維持管理経費の状況

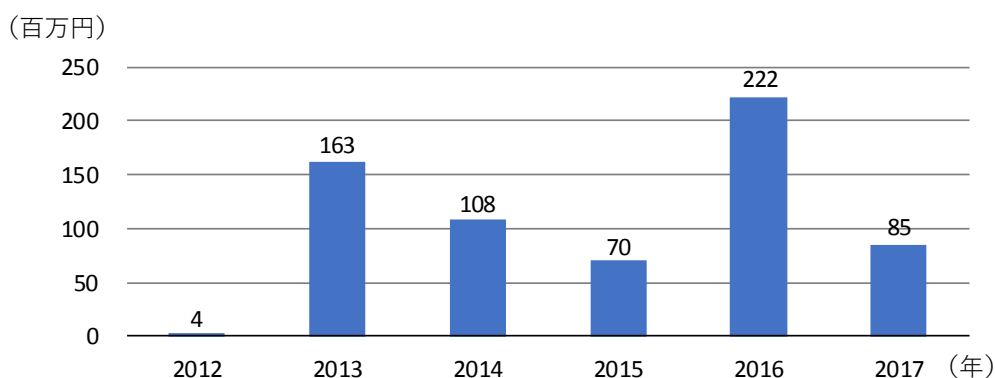
毎年、約 2 億円の維持管理経費が発生しており、特に修繕料は、年ごとの変動が大きくなっています。



■維持管理費の推移

②大規模改修費の状況

大規模改修費（工事請負費）は、年ごとの変動が大きく、ほぼ工事を行っていない年がある一方で、2016 年度では約 2.2 億円となっています。ただし、老朽化対策よりも乳児を受け入れるための改修や増築に対応する工事が多くなっています。



■大規模改修費の推移

(2) 更新等に係る経費の見込み額

現在保有する全ての公立保育園を維持した場合の財政面での課題を明確にするため、今後 40 年間にわたる大規模改修、更新に係る中長期的な経費を試算します。

①試算条件

一宮市公共施設等総合管理計画の試算方法に合わせ、以下の条件とします。

〔更新等時期〕建築後 30 年で大規模改修、60 年で建替え

〔更新等単価〕大規模改修：17 万円/㎡、更新：33 万円/㎡

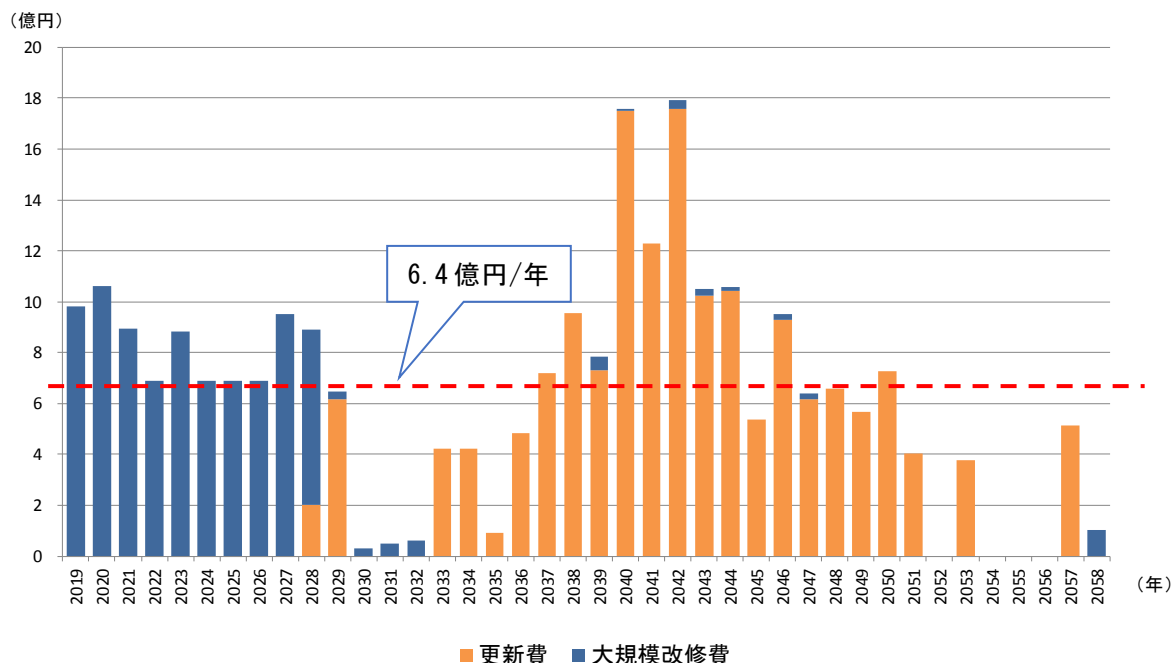
なお、既に経過年数が 30 年以上の建物については、大規模改修が実施されていないもの（積み残し）とし、当初の 10 年間で実施するものとして、計上します。

②試算結果

本計画の対象施設と上記の試算条件に基づき、今後 40 年間に必要な公立保育園の更新等に係る経費の見込みを試算すると以下のとおりとなります。

■公立保育園の更新等に係る経費の見込み額

	更新等に係る経費の見込み額
大規模改修費	約 87 億円
更新費	約 168 億円
合 計	約 255 億円（約 6.4 億円/年）



■大規模改修、更新に係る経費の見込み額の推移

⇒ 今後は、近年で工事にかけてきた経費の何倍もの金額が必要となり、公立保育園の更新（建替え）については、小中学校などとは異なり、国からの補助制度が無いいため、市単独の財源で賄わなければならないことが課題となっています。

⇒ 公立保育園を国・県等の公費の補助が見込まれる民間へ移管し、厳しい財政状況の中で、将来の財政負担を軽減する必要があります。

第4章 幼稚園・保育園等の児童数の現状

1. 幼稚園の現状

(1) 施設の設置状況

市内で運営されている私立幼稚園の設置状況を以下に示します。

■私立幼稚園

(2018年5月1日現在)

	施設名称	所在地	連区	定員 (人)
1	修文大学附属一宮幼稚園	日光町 6	大和町	300
2	一宮栽松幼稚園	大赤見字西川垂 99-1	西成	480
3	一宮聖光幼稚園	古金町 1-40	向山	105
4	愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園	千秋町小山字北川田 1522-7	千秋町	207
5	愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園	萩原町串作字流 17-1	萩原町	270
6	大野幼稚園	浅井町大野字郷西 32-2	浅井町	209
7	おじま幼稚園	北神明町 3-68-5	宮西	209
8	北方幼稚園	北方町北方字中土取 188	北方町	160
9	釧正幼稚園	本町 1-4-24	宮西	200
10	中田釧正幼稚園	北小渕字中田 60	西成	255
11	サンタマリア幼稚園	今伊勢町馬寄字桑屋敷 34-2	今伊勢町	210
12	今伊勢真光幼稚園	今伊勢町馬寄字西切戸 7-1	今伊勢町	105
13	たんぼ幼稚園	島村字六反田 55	葉栗	180
14	丹陽幼稚園	あずら 1-18-16	丹陽町	320
15	千秋幼稚園	千秋町佐野字加村 25	千秋町	260
16	大和東幼稚園	大和町妙興寺字才田 32	大和町	360
17	西成幼稚園	春明字中切生 7-2	西成	190
18	平安幼稚園	浅井町小日比野字堤南ノ切 1622-11	浅井町	240
19	龍明寺幼稚園	大和町毛受字浜田 28-2	大和町	200
20	金剛幼稚園	開明字郷中 58	開明	320
21	金剛ブラザ幼稚園	小信中島字上郷西 1	起	104
22	尾西幼稚園	蓮池字上長池 10	朝日	270
23	きそがわ幼稚園	木曾川町外割田字郷中川田 212	木曾川町	200
24	木曾川花園幼稚園	木曾川町黒田宝光寺 37	木曾川町	180
	合計			5,534



(2) 就園状況

現在の各連区における私立幼稚園への就園状況は、以下のとおりとなります。定員充足率※は、最も低い連区は葉栗で 23.9%、最も高い連区は木曽川町で 104.5%となっています。

■私立幼稚園の就園状況

(2018 年 5 月 1 日現在)

連区	施設数	3～5 歳 園児数 (人)	3～5 歳 定員数 (人)	充足率 (%)
宮西	私立 2 園	414	409	101.2%
貴船	—	0	0	—
神山	—	0	0	—
大志	—	0	0	—
向山	私立 1 園	94	105	89.5%
富士	—	0	0	—
葉栗	私立 1 園	43	180	23.9%
西成	私立 3 園	801	925	86.6%
丹陽町	私立 1 園	164	320	51.3%
浅井町	私立 2 園	375	449	83.5%
北方町	私立 1 園	115	160	71.9%
大和町	私立 3 園	567	860	65.9%
今伊勢町	私立 2 園	243	315	77.1%
奥町	—	0	0	—
萩原町	私立 1 園	261	270	96.7%
千秋町	私立 2 園	327	467	70.0%
起	私立 1 園	60	104	57.7%
小信中島	—	0	0	—
三条	—	0	0	—
大徳	—	0	0	—
朝日	私立 1 園	142	270	52.6%
開明	私立 1 園	244	320	76.3%
木曽川町	私立 2 園	397	380	104.5%
合 計		4,247	5,534	76.7%

※ 充足率 (%) : 定員数に対する園児数の割合



２．保育園等の現状

(１) 施設の設置状況

市内で運営されている保育園等の設置状況を以下に示します。

■私立保育園

(2018 年 4 月 1 日現在)

	施設名称	所在地	連区	定員(人)
1	一宮尚正会保育園	古金町 2 丁目 18	向山	70
2	みづほ保育園	浅井町尾関字同者 138	浅井町	251
3	研修保育園	春明字西柳原 47	西成	101
4	研修南保育園	大和町於保字上次 19, 20	大和町	140
5	若の宮保育園	島村字下老光寺 44-1	葉栗	30
6	末広保育園	末広 2 丁目 20-20	大和町	200
7	ふたば保育園	大和町馬引字古宮 63	大和町	230
8	かもめ保育園	末広 1 丁目 21-10	大和町	80
9	丹羽保育園	丹羽字南屋敷 1555-1	西成	230
10	明泰保育園	木曽川町三ツ法寺字宮西 328	木曽川町	140
11	一宮尚正会大和保育園	大和町茹安賀字東下田 6	大和町	70
12	大和保育園	大和町茹安賀字角出 80	大和町	140
13	駅西にわ保育園 (丹羽保育園分園)	新生 1 丁目 4-4	神山	30
14	あさひ保育園	明地字東七丁原 110	朝日	80
15	かもめ三ツ井保育園	三ツ井 6 丁目 9-1	丹陽町	30
16	アートチャイルドケア尾張一宮保育園	森本 5 丁目 25-5	丹陽町	140
	合計			1,962

■認定こども園

(2018 年 4 月 1 日現在)

	施設名称	所在地	連区	定員(人)
1	九品寺幼稚園	真清田 2 丁目 14-7	宮西	109
	合計			109

■地域型保育事業所

(2018 年 4 月 1 日現在)

	施設名称	所在地	連区	定員(人)
1	一宮聖光幼稚園保育部	古金町 1-40	向山	12
2	あすかキッズ一宮駅前	栄 2 丁目 12-10	宮西	19
3	スクルドエンジェル保育室一宮平和園	平和 1 丁目 11-10	神山	19
4	はな保育室いちのみや駅前	本町 4 丁目 1-5	大志	19
5	あすかキッズ貴船	貴船 2 丁目 10-20	貴船	19
6	はな保育室いちのみやみなみ	森本 4 丁目 6-21	丹陽町	19
7	ピョン助キッズハウス	多加木 1 丁目 23-16	丹陽町	19
8	はな保育室いまいせ	今伊勢町本神戸字前畑 4	今伊勢町	19
9	すくすく nursery 妙興寺	妙興寺 1 丁目 5-4	大和町	19
10	あんず保育所	開明字東石亀 14	開明	95※
	合計			259

※あんず保育所の定員数は、従業員枠を含む

■公立保育園

(2018 年 4 月 1 日現在)

	施設名称	所在地	連区	定員(人)
1	野口保育園	野口 1 丁目 19-7	神山	230
2	押場保育園	音羽 2 丁目 2-29	宮西	150
3	真澄保育園	公園通 4 丁目 20	向山	170
4	貴船保育園	貴船 2 丁目 5-17	貴船	170
5	富士保育園	富士 1 丁目 12-8	富士	200
6	大志保育園	大志 2 丁目 5-20	大志	150
7	一色保育園	一色町 76	神山	100
8	葉栗保育園	島村字上深田 58	葉栗	100
9	光明寺保育園	光明寺字大条戸 135	葉栗	160
10	浅野保育園	浅野字佐五山 55	西成	220
11	西成保育園	西大海道字北裏 2	西成	120
12	瀬時保育園	瀬部字川原 62	西成	170
13	赤見保育園	小赤見字清水 13	西成	120
14	丹陽保育園	三ツ井 1 丁目 15-3	丹陽町	140
15	丹陽西保育園	多加木 1 丁目 24-10	丹陽町	290
16	丹陽南保育園	伝法寺 6 丁目 2-26	丹陽町	250
17	浅井保育園	浅井町西海戸字柿の木 28	浅井町	140
18	浅井中保育園	浅井町大日比野字東屋敷 2415	浅井町	60
19	浅井北保育園	浅井町大野字天神西 290	浅井町	80
20	北方東保育園	北方町北方字狐塚西 10	北方町	100
21	北方西保育園	北方町中島字西流 1280	北方町	80
22	大和東保育園	花池 3 丁目 10-3	大和町	160
23	大和北保育園	大和町馬引字乾出 19	大和町	60
24	今伊勢中保育園	今伊勢町宮後字西茶原 58-1	今伊勢町	170
25	今伊勢南保育園	今伊勢町本神戸字立切 1-6	今伊勢町	200
26	今伊勢北保育園	今伊勢町馬寄字桑屋敷 17-1	今伊勢町	220
27	奥町東保育園	奥町字畑中 101	奥町	150
28	奥町西保育園	奥町字下口西 10	奥町	60
29	萩原保育園	萩原町萩原字河原崎 19	萩原町	160
30	中島保育園	萩原町西宮重字東光堂 53	萩原町	90
31	朝宮保育園	萩原町朝宮字栄 57	萩原町	90
32	西御堂保育園	萩原町西御堂字蓮池 31	萩原町	110
33	千秋保育園	千秋町佐野字下川田 36	千秋町	200
34	千秋南保育園	千秋町小山字南川田 4	千秋町	140
35	千秋北保育園	千秋町浮野字定筆 33	千秋町	100
36	起保育園	起字用水添 8	起	60
37	三条保育園	三条字郷南西 31-1	三条	230
38	小信保育園	小信中島字南平口 98	小信中島	260
39	開明保育園	開明字名古羅 34	開明	150
40	竈屋保育園	竈屋 2 丁目 5-46	三条	110
41	富田保育園	富田字橋詰 298-1	大徳	70
42	北今保育園	北今字葭山 578	大徳	110
43	朝日西保育園	上祖父江字山前 26	朝日	60
44	開明西保育園	開明字教堂池 38-1	開明	100
45	東五城保育園	東五城字南田尾 748	大徳	200
46	朝日東保育園	明地字鞆 20	朝日	60
47	神明保育園	木曽川町黒田七ノ通り 144	木曽川町	200
48	黒田北保育園	木曽川町黒田字竈守西 108	木曽川町	80
49	門間保育園	木曽川町門間字東北出 318	木曽川町	150
50	外割田保育園	木曽川町外割田字摺鉢 27	木曽川町	240
51	玉ノ井保育園	木曽川町玉ノ井字高畑 19	木曽川町	120
52	里小牧保育園	木曽川町里小牧字神明東 5-1	木曽川町	70
53	黒田西保育園	木曽川町黒田字北宿四の切 80	木曽川町	120
	合計			7,500

(2) 就園状況（幼児）

現在の各連区における幼児（3～5歳）の公立・私立保育園及び認定こども園への就園状況は、定員充足率※では、起連区を除いた全ての連区で7割を超えています。

■公立・私立保育園及び認定こども園の幼児（3～5歳）に係る就園状況

（2018年4月1日現在）

連区	施設数	3～5歳 園児数 (人)	3～5歳 定員数 (人)	充足率 (%)
宮西	公立1園、こども園1園	166	186	89.2%
貴船	公立1園	117	133	88.0%
神山	公立2園	208	237	87.8%
大志	公立1園	88	109	80.7%
向山	公立1園、私立1園	144	163	88.3%
富士	公立1園	117	144	81.3%
葉栗	公立2園	183	217	84.3%
西成	公立4園、私立2園	610	694	87.9%
丹陽町	公立3園、私立1園	551	612	90.0%
浅井町	公立3園、私立1園	324	392	82.7%
北方町	公立2園	101	123	82.1%
大和町	公立2園、私立6園	704	748	94.1%
今伊勢町	公立3園	376	436	86.2%
奥町	公立2園	138	177	78.0%
萩原町	公立4園	260	318	81.8%
千秋町	公立3園	253	303	83.5%
起	公立1園	27	60	45.0%
小信中島	公立1園	174	195	89.2%
三条	公立2園	187	217	86.2%
大徳	公立3園	195	238	81.9%
朝日	公立2園、私立1園	136	175	77.7%
開明	公立2園	141	165	85.5%
木曽川町	公立7園、私立1園	664	782	84.9%
合 計		5,864	6,824	85.9%

※ 充足率（%）：定員数に対する園児数の割合



(3) 就園状況（乳児）

現在の各連区における乳児（0～2歳）の公立・私立保育園、認定こども園、地域型保育事業所への就園状況は、定員充足率※では、大徳連区を除いた全ての連区で6割を超えています。

■公立・私立保育園、認定こども園、地域型保育事業所の乳児（0～2歳）に係る就園状況

（2018年4月1日現在）

連区	施設数	0～2歳 園児数 (人)	0～2歳 定員数 (人)	充足率 (%)
宮西	公立1園、地域型1園、こども園1園	80	92	87.0%
貴船	公立1園、地域型1園	53	56	94.6%
神山	公立2園、私立1園、地域型1園	127	142	89.4%
大志	公立1園、地域型1園	53	60	88.3%
向山	公立1園、私立1園、地域型1園	66	89	74.2%
富士	公立1園	52	56	92.9%
葉栗	公立1園、私立1園	58	73	79.5%
西成	公立4園、私立2園	246	267	92.1%
丹陽町	公立3園、私立2園、地域型2園	260	276	94.2%
浅井町	公立2園、私立1園	130	139	93.5%
北方町	公立2園	38	57	66.7%
大和町	公立2園、私立6園、地域型1園	322	351	91.7%
今伊勢町	公立3園、地域型1園	159	173	91.9%
奥町	公立1園	32	33	97.0%
萩原町	公立4園	106	132	80.3%
千秋町	公立3園	124	137	90.5%
起	—	0	0	—
小信中島	公立1園	62	65	95.4%
三条	公立3園	147	193	76.2%
大徳	公立2園	37	72	51.4%
朝日	公立1園	22	25	88.0%
開明	公立2園、地域型2園	120	180	66.7%
木曾川町	公立6園、私立1園	305	338	90.2%
合 計		2,599	3,006	86.5%

※ 充足率（%）：定員数に対する園児数の割合



第5章 教育・保育ニーズ量の将来推計

1. 待機児童数の状況

本市の待機児童数は、幼児（3～5歳）、乳児（0～2歳）ともに、2018年4月1日現在で0人となっています。

2. 教育及び保育ニーズ量の将来推計

将来の教育及び保育ニーズ量については、一宮市子ども子育て支援事業計画と同様に、「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き（平成26年1月）」に基づき、算出します。

具体的には、アンケート調査結果を活用し、家庭類型を8種類に分類し、現在の家庭類型に母親の就労希望を反映させた潜在的な家庭類型を考慮した上で、将来の就学前児童数の推計結果（出生率が1.80まで上昇するケース）に対して、量の見込みを算出しています。

なお、アンケート調査は子ども子育て支援事業計画の策定時である2013年時点であるため、現在までの女性就業率の上昇分を考慮し、現在の家庭類型に伸び率を掛けて、潜在家庭類型を求めた上で2028年度の連区別の教育・保育ニーズ量の見込みを算出しました。

■女性就業率の変化

H22 国調	人口	就業者数	就業率	H27 国調	人口	就業者数	就業率
20～24 歳	9,176	6,073		20～24 歳	9,095	5,894	
25～29 歳	10,061	6,914		25～29 歳	9,082	6,580	
30～34 歳	12,034	7,149		30～34 歳	10,184	6,560	
計	31,271	20,136	64.4%	計	28,361	19,034	67.1%

2.7%（1.04倍）の増加

連区別のニーズ量の推計結果を次ページに示します。



■連区別の教育・保育ニーズ量の見込み（2028 年度）

連 区	教育	保育		合計
	3～5 歳	3～5 歳	0～2 歳	
宮西	82	170	79	331
貴船	92	193	89	374
神山	119	243	114	476
大志	33	67	32	132
向山	71	147	69	287
富士	73	151	69	293
葉栗	115	238	111	464
西成	243	500	235	978
丹陽町	235	483	227	945
浅井町	133	273	127	533
北方町	61	126	58	245
大和町	321	660	310	1,291
今伊勢町	205	423	199	827
奥町	109	224	105	438
萩原町	122	250	118	490
千秋町	123	252	119	494
起	23	48	22	93
小信中島	86	176	83	345
三条	105	215	100	420
大徳	71	147	68	286
朝日	78	159	75	312
開明	57	118	55	230
木曽川町	264	540	253	1,057
2028 年度の ニーズ量合計	2,821	5,803	2,717	11,341
2018 年度の 園児数	4,247	5,864	2,599	12,710
想定される余剰	1,426	61	▲118	1,369

※ 教育の園児数は 2018 年 5 月 1 日現在、保育の園児数は 2018 年 4 月 1 日現在

将来のニーズと現在の園児数を比較しますと、幼稚園のニーズは 2,821 人となり、現在の園児数（4,247 人）を大きく下回ることが見込まれます。また、保育園のニーズは、3～5 歳では 5,803 人となり、現在の園児数（5,864 人）とほぼ同程度となります。一方で、0～2 歳では 2,717 人となり、現在の園児数（2,599 人）を上回ることが見込まれます。

⇒今後も乳児の保育ニーズは高い水準を保っていくことから、一定数を確保していく必要があります。
⇒私立幼稚園については、乳幼児の保育ニーズの受け皿として、より長時間の預かり保育への対応や、認定こども園への移行を促していく必要があります。

第6章 公立保育園の施設整備計画

1. 最適配置に向けた課題のまとめ

将来の就学前児童数の見通しや公立保育園の老朽化の現状、社会経済情勢の変化から質と量、財政面から公立保育園が抱える課題を以下に整理します。

質の課題（施設）

- ・昭和 50～60 年代に集中的に整備された公立保育園の園舎は、一様に老朽化が進行し、安全確保のために毎年の修繕箇所が増加傾向となっています。
- ・国の施策として、幼保一体化が進められており、公立においても保育事業の提供のみならず、地域の中で質の高い教育と保育を一体的に提供できる認定こども園への移行が求められています。

量の課題（ニーズ）

- ・就学前人口の減少に伴い、教育・保育のニーズ量が減少していきます。
- ・市内でも地域によって、定員充足率にはバラつきがあるものの、現状では、乳児保育が全体的に不足となっています。
- ・私立幼稚園において、より長時間の預かりや、保育ニーズの受入が期待されます。

財政面の課題

- ・修繕費用の増加や大規模改修及び更新（建替え）にかかる費用が集中し、安全確保がままならなくなることが危惧されています。
- ・公立の保育園は市の財政で全て負担する必要がありますが、民間の認定こども園や保育園は、国等の補助制度により、施設の整備にかかる経費に対して支援が受けられます。

公立保育園の最適配置の必要性

- ・当面の 10 年間では、保育ニーズに応えるため、新たな乳幼児施設（認定こども園や小規模保育事業所など）の定員を確保しつつ、最終的には大規模な保育園について、適正規模化（150 名程度）を進めていく必要があります。
- ・市内を 40 年後の人口規模などから 12 のブロックに分け、ブロックごとに子育て支援関連の施設における相互支援の中心となる保育園（ブロック支援園）を定め、公立として残し、地域の中で質の高い教育と保育を一体的に提供できる認定こども園化を進める必要があります。
- ・園舎の建替えなど老朽化への対応が必要となる時期に合わせて、ブロック支援園以外の公立保育園を民間へ移管することで、国等からの補助制度を活用した整備を推進しつつ、財源をブロック支援園に集中させ、水準を確保する必要があります。
- ・本市は、中核市への移行を目指しており、特に保育園関連では、これまで県が行っていた設置許可の手続きを市が行うことになり、民間までを含めた最適配置がこれまでよりも進めやすくなります。

【ブロック区分の考え方】

子ども子育て支援事業計画においては、市域を北、西、東、中の4つ地域に分け、計画の策定を行っていますが、本計画では、地域の実情や保育事業におけるニーズにきめ細かく対応するために、地域を更に細分化し、2058年における就学前児童数（0～5歳児）が概ね均等になるように12のブロックを設定しました。

本計画において設定した12のブロックを以下に示します。

■ブロック区分一覧

	ブロック 名称	構成する連区	就学前児童数 (2058年)(人)
1	北1	葉栗、浅井町	1,458
2	北2	北方町、木曽川町	1,915
3	北3	奥町	647
4	西1	起、小信中島、三条、開明	1,586
5	西2	萩原町、大徳、朝日	1,568
6	西3	大和町	1,880
7	東1	西成	1,468
8	東2	千秋町	736
9	東3	丹陽町	1,399
10	中1	今伊勢町	1,209
11	中2	宮西、神山、大志	1,356
12	中3	貴船、向山、富士	1,394
合計			16,616



■ブロック割り図

2. 今後の施設整備に向けた基本的な考え方

一宮市公共施設等総合管理計画で定めた縮減目標を達成し、公立保育園の配置を最適化するため、以下に示す考え方を基本とし、今後の施設整備を計画的に進めていくこととします。

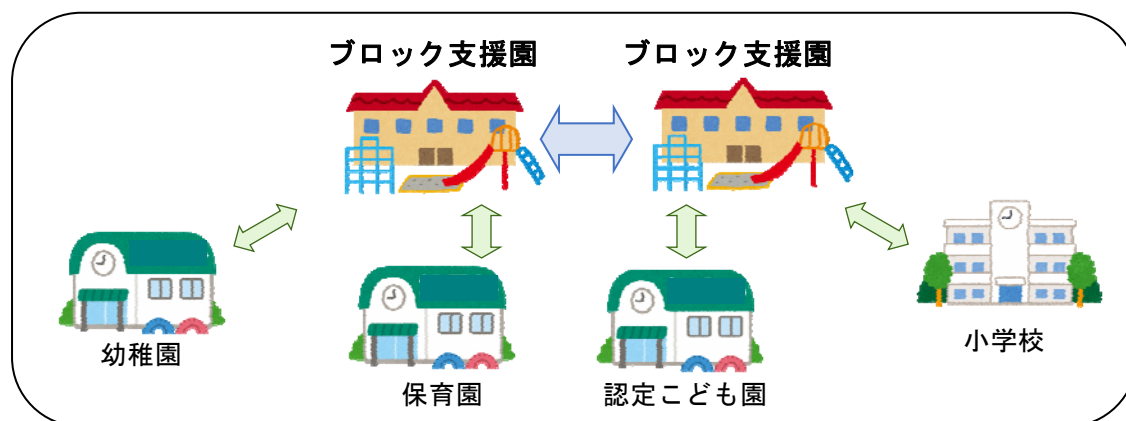
公立保育園の基本的な考え方

- 1 均質な保育サービスを提供するための最適配置
- 2 公立園と私立園の役割分担の明確化
- 3 民間活力の最大限の活用

基本的な考え方 1 均質な保育サービスを提供するための最適配置

公立園の最適な配置に向け、市内を 12 の地域に分け、ブロックごとの子育て支援の中心として、認定こども園に移行する公立保育園を定め、均質な保育サービスの提供を目指し、ブロック内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校との連携のための中心機能を担うとともに、地域子育て支援センターを併設して、地域ぐるみでの子育て支援を推進します。

- ・市内 12 ブロックごとに、ブロック支援園として 0～5 歳児の定員を有する公立認定こども園を 1～3 園程度の配置とし、地域の中で質の高い教育と保育を一体的に提供できる取組を進めます。



ブロック支援園の役割（例）

ブロック支援園の公立認定こども園では、専任の職員を配置し、教育・保育の質の向上と地域の子育て家庭への支援をに取り組むことが考えられます。

- ・ブロック内の保育園、幼稚園、認定こども園など教育・保育施設が研修や交流等を通じて学び合う機会を設け、お互いに連携してスキルアップを図ることで地域の保育の質を高め、市全体の保育の質の向上を目指します。
- ・これから子育てを始める方や子育て中の方へ、子育てに関する情報を提供し、それぞれの家庭にとって必要なサービスや支援等を円滑に利用できるよう支援します。

基本的な考え方 2 公立園と私立園の役割分担の明確化

【公立園の役割】

公立保育園の老朽化が進行している中で、ブロック支援園として存続させる保育園については、機能の充実の観点から認定こども園へ移行し、幼児教育も合わせて行うとともに、改修や更新により、近年の施設整備水準に合わせた質の向上を図ります。

- ・民間では対応が難しいニーズである特別な支援を要する子どもへの対応のほか、就学前児童数が少なく適正規模が確保できないことで民間事業者の新規参入が見込まれず、近隣に代替となる私立園が存在しない場合には、公立園を残しつつ、本市が目指す保育の見本となる保育のあり方を示していきます。

【私立園の役割】

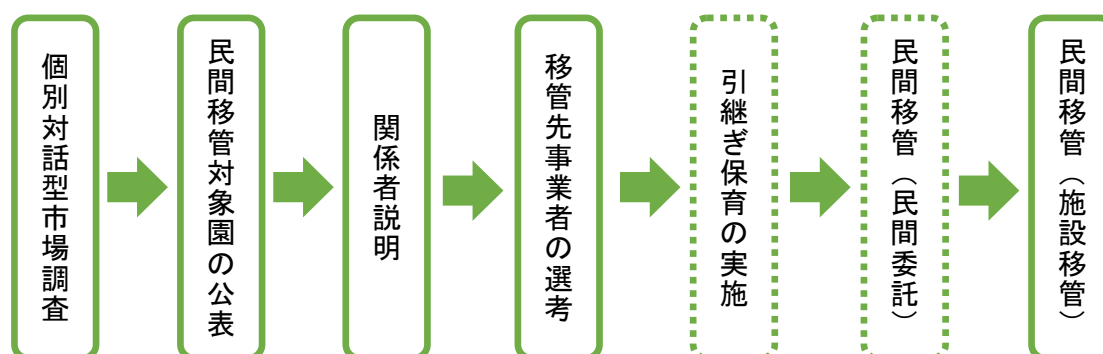
民間の保育園、幼稚園などにおいては、これまでも事業者の創意工夫により、十分なノウハウが蓄積され、適切な運営や質の高い教育・保育の提供がなされており、民間による効果的・効率的なサービスの提供が可能であると考えています。

- ・民間が持つ柔軟性や効率性を活かして、早朝保育、休日保育、夜間保育などの延長保育や送迎、イベントの開催、独自の教育プログラム（英語や体操、心の教育）など、教育・保育サービスの充実やスピーディな対応が期待されます。

基本的な考え方 3 民間活力の最大限の活用

市内の幼稚園及び保育園を運営する民間事業者へのアンケート結果（資料編 3 ページ参照）から、市内で既存の幼稚園や保育園を運営する民間事業者においても、私立幼稚園のこども園化による保育ニーズの受入や公立保育園の民間移管の可能性があることが確認されました。ただし、公立保育園を民営化することで、公共としての関与が全く無くなるわけではなく、認可保育園として本市が引き続き指導・監督する立場であることに変わりはありません。特に、私立幼稚園に対しては、幼保一体化に向けた認定こども園への移行を支援・促進していきます。

- ・これらの取組みにより生み出される貴重な財源は、子どもの福祉の充実に活用することもできます。



■ 民間移管の進め方（例）

3. 施設整備の形態

(1) 早急な対応を必要とするケース

公立保育園については、大規模改修や建替えまでの期間は、本市として児童の安全を確保するため、施設の劣化等に対する施設修繕を最優先に対応する必要があります。毎年の点検結果に基づき、必要に応じて緊急修繕として実施していきます。

(2) 大規模改修や建替えを行うケース

ブロック支援園については、適切な日常点検と計画的な予防保全による維持管理を行い、施設の長寿命化を図ります。次ページに示す予防保全修繕や長寿命化改修、建替えを組み合わせ、これまでの事後保全的な維持管理から予防保全型の維持管理に切り替え、予算の平準化を図りつつ、良好な保育園施設を次世代へと引き継いでいきます。長寿命化改修に合わせて、機能面の向上を図り、こども園化を進めていきます。

(3) 必要最小限の修繕・改修を行うケース

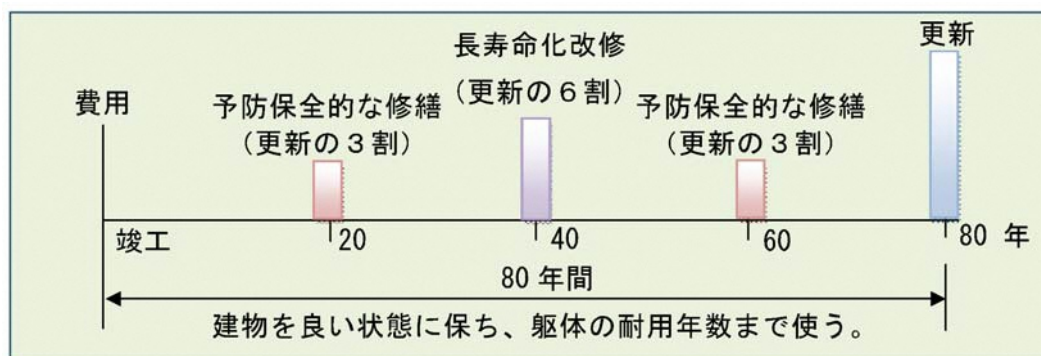
ブロック支援園以外の保育園については、園舎等の譲渡や建替えを行うこととなるため、それまでの期間は、建物の健全性を保つための修繕・改修工事を随時行っています。譲渡する場合は、社会福祉法人等の民間事業者に対し、有償・無償、改修の有無、敷地の借用等について定め、事業の継続性にも配慮していく必要があります。



4. 施設保全（長寿命化）の進め方

建物の構造や用途などに応じて継続利用すべき目標耐用年数（鉄筋コンクリート造：80 年）から長寿命化に向けた対策内容と実施時期を設定し、計画的な保全により、ライフサイクルコストの最適化を図ることとします。その上で長寿命化改修などの施設改善を行う際には、公立保育園の施設環境を向上させ、良好な保育環境を確保するとともに、可能な限り、機能拡充を図るものとします。

また、建築基準法 12 条点検を継続的に実施し、経年劣化による危険個所が見受けられた場合については、緊急修繕を実施し、安全確保に努めるものとします。



（出典：一宮市公共施設等総合管理計画）

（１）予防保全修繕【対象：築 30 年未満の鉄筋コンクリート造】

定期的な点検の実施のもと、躯体の機能に影響が及ぶ前に、屋上防水や外装塗装などの延命化対策を全面的に実施します。また、耐用年数が短い建築附属設備（電気設備、昇降機設備等）の更新を合わせて実施します。一宮市公共施設等総合管理計画においては、建築後 20 年目を目途に実施することとしていますが、築 20 年以上 30 年未満の建物についても積み残しとして実施し、長寿命化を図ります。予防保全修繕については、築 60 年目にも実施します。

（２）長寿命化改修【対象：築 30 年以上の鉄筋コンクリート造】

改修後 40 年の使用を見据え、コンクリートの中性化対策、鉄部の腐食対策及び耐久性に優れた仕上材への取り替えなど、建物の耐久性や機能・性能の向上を目的として全面的な改修を実施します。また、耐用年数が短い建築附属設備（電気設備、昇降機設備等）の更新を合わせて実施します。一宮市公共施設等総合管理計画においては、建築後 40 年目を目途に実施することとしていますが、築 40 年以上の建物についても積み残しとして実施し、長寿命化を図ります。

（３）建替え【対象：築 30 年以上の鉄骨造・木造】

建築後 30 年以上が経過した鉄骨造・木造の建物は、長寿命化を図ることが困難であることから、出来る限り早く建て替えを行う必要があります。

5. 施設整備の進め方

(1) 整備・運営手法

劣化状況や政策的判断などから園舎の建替えを選択した際の整備・運営手法は、以下のいずれかの手法を原則とします。

①公設公営の維持（ブロック支援園）

- ・市が認定こども園として建替え、引き続き運営を行います。
- ・公設公営の場合、施設整備にも運営費にも国庫補助が無い場合、全額が市の負担となり、財源確保が課題となります。

②民設民営への移行（ブロック支援園以外の園）

- ・民間事業者が運営を引き継ぎ、新たな保育園整備を行います。
- ・民間移管の実施にあたっては、円滑に民間事業者の運営に移行するための基本原則として、民間移管の実施基準を策定し、保護者をはじめとした関係者の意見や要望を取り入れながら、民間の運営への移行を進めていきます。
- ・施設整備にも運営費にも国庫補助があり、市の財政負担が軽減されます。

(2) 建替えにあたっての基本的事項

建替えの際は、原則として、需要がある地域は定員増を図るとともに、多様な保育ニーズや障害児保育等に対応できる施設に拡充します。

■機能拡充の例

建替え前	建替え後
①通常保育 ②延長保育（最大 19 時まで）	①通常保育（乳児の定員増） ②延長保育（19 時まで） ③一時預かり・特定保育 ④地域子育て支援センター ⑤教育への対応（こども園化）

(3) 建替え場所

児童への影響（短期間での複数回の引っ越しによる生活環境の変化及び工事期間中の園庭の利用制限など）を考慮し、可能な限り、現在の保育園用地の敷地外に用地を確保（市有地、国有地・県有地、事業者による民間所有地確保等）し、整備（新設）することが望ましいと考えられます。

ただし、工事方法の工夫により現在の敷地内に整備が可能な場合は、その方法により検討します。また、周辺に、十分な面積の保育に適した用地が確保できない場合には、周辺の用地に仮設園舎を設置するなどして、建替えを行います。

資 料 編

1. 就学前児童を含む5歳階級の将来推計結果

2018年から40年後の2058年までの連区別の0～4歳児、5～9歳児の将来人口の見通しは、以下のとおりとなります。

また、市全体では、2018年から2028、2033年にかけて一旦は減少傾向を示した後、2043、2048年にかけてわずかに増加し、それ以降は再び減少する見込みとなっています。

連区名	年齢 (5歳階級)	実績値	推計値							
		平成30年 (2018年)	平成35年 (2023年)	平成40年 (2028年)	平成45年 (2033年)	平成50年 (2038年)	平成55年 (2043年)	平成60年 (2048年)	平成65年 (2053年)	平成70年 (2058年)
宮西	0～4歳	404	433	421	429	437	445	425	410	399
	5～9歳	480	415	445	434	443	453	463	441	426
貴船	0～4歳	404	490	474	486	503	511	474	453	438
	5～9歳	496	414	504	488	502	521	531	492	471
神山	0～4歳	729	634	605	613	619	620	591	578	581
	5～9歳	695	748	652	623	634	642	643	614	600
大志	0～4歳	165	177	169	168	172	173	169	164	160
	5～9歳	220	169	182	174	173	178	180	176	171
向山	0～4歳	467	371	370	388	380	390	384	378	374
	5～9歳	482	479	382	381	401	394	405	398	392
富士	0～4歳	408	371	375	380	386	388	374	366	359
	5～9歳	479	418	382	386	393	400	403	388	380
葉栗	0～4歳	559	615	589	602	627	649	626	593	571
	5～9歳	771	573	632	607	622	650	674	651	616
西成	0～4歳	1,398	1,274	1,247	1,280	1,323	1,357	1,317	1,268	1,233
	5～9歳	1,705	1,434	1,310	1,285	1,323	1,371	1,409	1,367	1,316
丹陽町	0～4歳	1,496	1,231	1,207	1,245	1,251	1,260	1,209	1,188	1,177
	5～9歳	1,476	1,534	1,266	1,244	1,286	1,296	1,308	1,255	1,234
浅井町	0～4歳	620	699	681	700	716	728	700	675	652
	5～9歳	875	636	718	702	723	742	756	727	701
北方町	0～4歳	320	324	311	320	333	335	320	309	298
	5～9歳	368	328	333	320	331	345	348	332	321
大和町	0～4歳	1,821	1,683	1,648	1,683	1,714	1,715	1,625	1,586	1,586
	5～9歳	2,013	1,868	1,730	1,699	1,739	1,776	1,781	1,688	1,647
今伊勢町	0～4歳	1,261	1,075	1,059	1,106	1,100	1,092	1,042	1,016	1,022
	5～9歳	1,208	1,293	1,105	1,091	1,143	1,139	1,134	1,083	1,055
奥町	0～4歳	559	575	556	577	600	613	584	558	544
	5～9歳	665	573	591	573	596	621	636	607	579
萩原町	0～4歳	640	636	623	650	667	677	638	609	599
	5～9歳	766	657	654	642	671	692	703	663	632
千秋町	0～4歳	659	637	632	644	671	689	659	634	619
	5～9歳	849	676	655	651	665	696	716	684	659
起	0～4歳	125	119	119	121	125	126	117	115	115
	5～9歳	150	128	122	123	125	130	131	122	119
小信中島	0～4歳	495	454	440	448	465	478	455	447	427
	5～9歳	601	507	466	454	462	481	496	473	465
三条	0～4歳	546	552	535	556	566	566	548	525	517
	5～9歳	624	560	568	551	574	587	588	569	545
大徳	0～4歳	330	370	369	376	392	396	369	353	349
	5～9歳	433	339	380	380	388	406	412	383	367
朝日	0～4歳	336	408	398	402	418	431	402	382	369
	5～9歳	464	344	420	410	416	433	447	418	396
開明	0～4歳	293	307	294	298	308	312	285	277	273
	5～9歳	333	300	316	303	308	319	324	296	288
木曽川町	0～4歳	1,565	1,371	1,352	1,394	1,412	1,403	1,344	1,319	1,311
	5～9歳	1,651	1,605	1,410	1,393	1,440	1,463	1,457	1,396	1,370
合計	0～4歳	15,600	14,806	14,474	14,866	15,185	15,354	14,657	14,203	13,973
	5～9歳	17,804	15,998	15,223	14,914	15,358	15,735	15,945	15,223	14,750

2018年は住民基本台帳（2018年4月1日現在）より

2. 公立保育園一覧

(2018年4月1日現在)

	施設名称	棟数	所在地	連区	定員(人)	代表的な構造	代表建築年度(年)	経過年数(年)	延床面積(m ²)
1	野口保育園	2	野口1丁目19-7	神山	230	RC造	1980	38	1,153
2	押場保育園	1	音羽2丁目2-29	宮西	150	RC造	1980	38	980
3	真澄保育園	2	公園通4丁目20	向山	170	RC造	1980	38	902
4	貴船保育園	2	貴船2丁目5-17	貴船	170	RC造	1982	36	1,054
5	富士保育園	3	富士1丁目12-8	富士	200	RC造	1978	40	1,217
6	大志保育園	1	大志2丁目5-20	大志	150	RC造	1981	37	964
7	一色保育園	1	一色町76	神山	100	RC造	1984	34	813
8	葉栗保育園	1	島村字上深田58	葉栗	100	RC造	1982	36	1,010
9	光明寺保育園	2	光明寺字大条戸135	葉栗	160	S造	1978	40	935
10	浅野保育園	1	浅野字佐五山55	西成	220	RC造	1997	21	1,323
11	西成保育園	1	西大海道字北裏2	西成	120	RC造	1981	37	914
12	瀬時保育園	1	瀬部字川原62	西成	170	RC造	1984	34	1,074
13	赤見保育園	2	小赤見字清水13	西成	120	RC造	1986	32	996
14	丹陽保育園	3	三ツ井1丁目15-3	丹陽町	140	RC造	1985	33	995
15	丹陽西保育園	3	多加木1丁目24-10	丹陽町	290	RC造	1986	32	1,288
16	丹陽南保育園	3	伝法寺6丁目2-26	丹陽町	250	RC造	1989	29	1,215
17	浅井保育園	1	浅井町西海戸字柿の木28	浅井町	140	RC造	1979	39	894
18	浅井中保育園	2	浅井町大日比野字東屋敷2415	浅井町	60	RC造	1982	36	960
19	浅井北保育園	5	浅井町大野字天神西290	浅井町	80	RC造	1981	37	936
20	北方東保育園	2	北方町北方字狐塚西10	北方町	100	RC造	1982	36	610
21	北方西保育園	3	北方町中島字西流1280	北方町	80	RC造	1976	42	627
22	大和東保育園	1	花池3丁目10-3	大和町	160	RC造	1987	31	976
23	大和北保育園	4	大和町馬引字乾出19	大和町	60	S造	1968	50	507
24	今伊勢中保育園	3	今伊勢町宮後字西茶原58-1	今伊勢町	170	RC造	1977	41	1,027
25	今伊勢南保育園	2	今伊勢町本神戸字立切1-6	今伊勢町	200	RC造	1988	30	1,192
26	今伊勢北保育園	2	今伊勢町馬寄字桑屋敷17-1	今伊勢町	220	RC造	1981	37	1,115
27	奥町東保育園	1	奥町字畑中101	奥町	150	RC造	1983	35	1,010
28	奥町西保育園	1	奥町字下口西10	奥町	60	RC造	1983	35	926
29	萩原保育園	1	萩原町萩原字河原崎19	萩原町	160	RC造	1982	36	1,072
30	中島保育園	4	萩原町西宮重字東光堂53	萩原町	90	RC造	1985	33	798
31	朝宮保育園	1	萩原町朝宮字栄57	萩原町	90	RC造	1990	28	962
32	西御堂保育園	1	萩原町西御堂字蓮池31	萩原町	110	RC造	1993	25	1,139
33	千秋保育園	2	千秋町佐野字下川田36	千秋町	200	RC造	1980	38	1,194
34	千秋南保育園	2	千秋町小山字南川田4	千秋町	140	RC造	1978	40	994
35	千秋北保育園	4	千秋町浮野字定筆33	千秋町	100	RC造	1984	34	692
36	起保育園	1	起字用水添8	起	60	RC造	1982	36	859
37	三条保育園	1	三条字郷南西31-1	三条	230	RC造	1974	44	1,278
38	小信保育園	3	小信中島字南平口98	小信中島	260	RC造	1983	35	1,247
39	開明保育園	1	開明字名古羅34	開明	150	RC造	1980	38	1,242
40	簗屋保育園	2	簗屋2丁目5-46	三条	110	RC造	1989	29	942
41	富田保育園	1	富田字橋詰298-1	大徳	70	RC造	1987	31	889
42	北今保育園	1	北今字葭山578	大徳	110	RC造	1988	30	876
43	朝日西保育園	1	上祖父江字山前26	朝日	60	RC造	1986	32	934
44	開明西保育園	1	開明字教堂池38-1	開明	100	RC造	1984	34	944
45	東五城保育園	1	東五城字南田尾748	大徳	200	RC造	1990	28	1,244
46	朝日東保育園	1	明地字鞆20	朝日	60	RC造	1991	27	905
47	神明保育園	2	木曽川町黒田七ノ通り144	木曽川町	200	W造	1981	37	1,175
48	黒田北保育園	1	木曽川町黒田字簗守西108	木曽川町	80	W造	1973	45	1,162
49	門間保育園	1	木曽川町門間字東北出318	木曽川町	150	W造	1976	42	954
50	外割田保育園	2	木曽川町外割田字摺鉢27	木曽川町	240	W造	1977	41	1,453
51	玉ノ井保育園	2	木曽川町玉ノ井字高畑19	木曽川町	120	W造	1969	49	1,011
52	里小牧保育園	2	木曽川町里小牧字神明東5-1	木曽川町	70	W造	1979	39	1,313
53	黒田西保育園	1	木曽川町黒田字北宿四の切80	木曽川町	120	W造	1969	49	913
合計		96			7,500				53,807

※各施設の代表構造及び建築年度は、最も面積が大きい園舎または保育室の代表構造及び建築年度を示す。

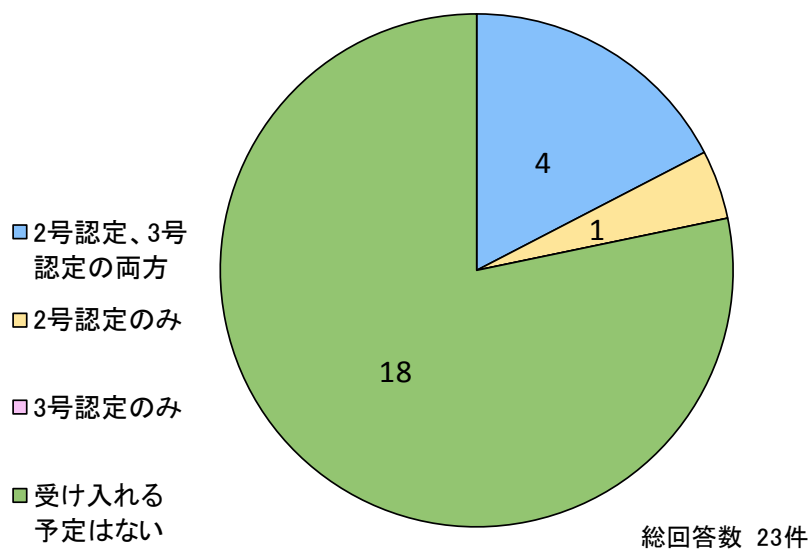
3. 民間事業者の意向把握

市内の私立幼稚園及び私立保育園を運営する民間事業者に対し、今後の施設整備や運営方針の方向性などの意向について、アンケート調査を行いました。今後の公立保育園の方針を定めるあたり、主要な調査結果について、以下に示します。

(1) アンケート調査結果（私立幼稚園）

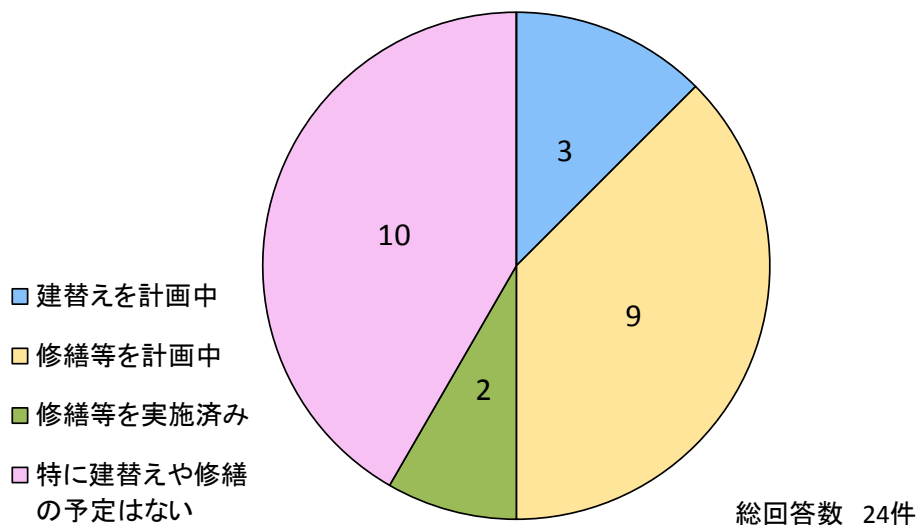
①保育の受け入れについて

今後もこれまで通り保育ニーズを受け入れる予定はないと回答した幼稚園が18園あった一方で、2号認定（幼児）、3号認定（乳児）の双方を受け入れる意向がある幼稚園が4園、2号認定（幼児）のみを受け入れる意向がある幼稚園が1園ありました。



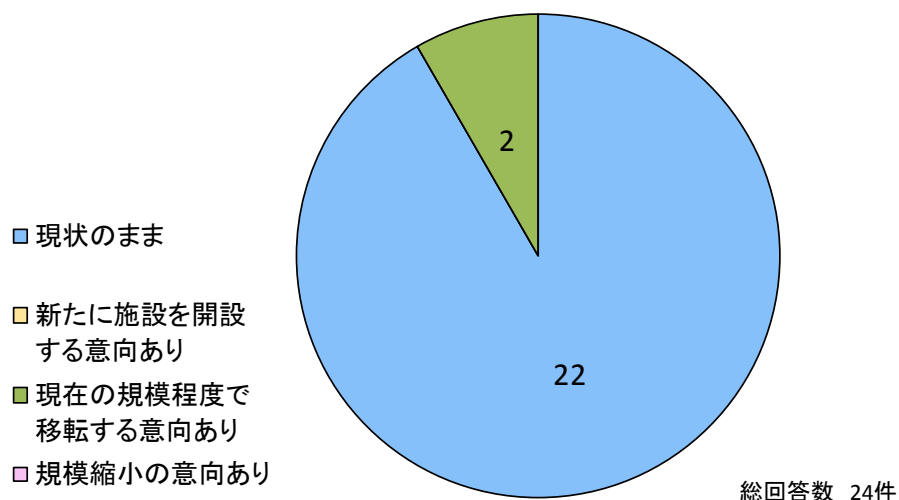
②建物の老朽化状況について

今後、建替えを計画している幼稚園が3園、修繕等を計画している幼稚園が9園あることが分かりました。



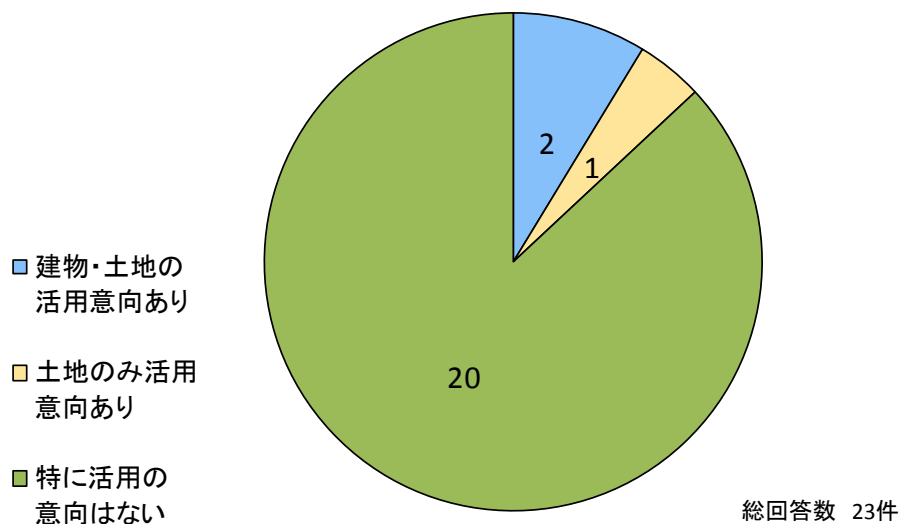
③今後の施設整備の方向性について

今後も現在の場所で、現状の規模のまま運営する意向である幼稚園が 22 園である一方で、2 園が現在の規模程度で移転する意向があることが分かりました。



④市が保有する土地や建物を活用した施設整備について

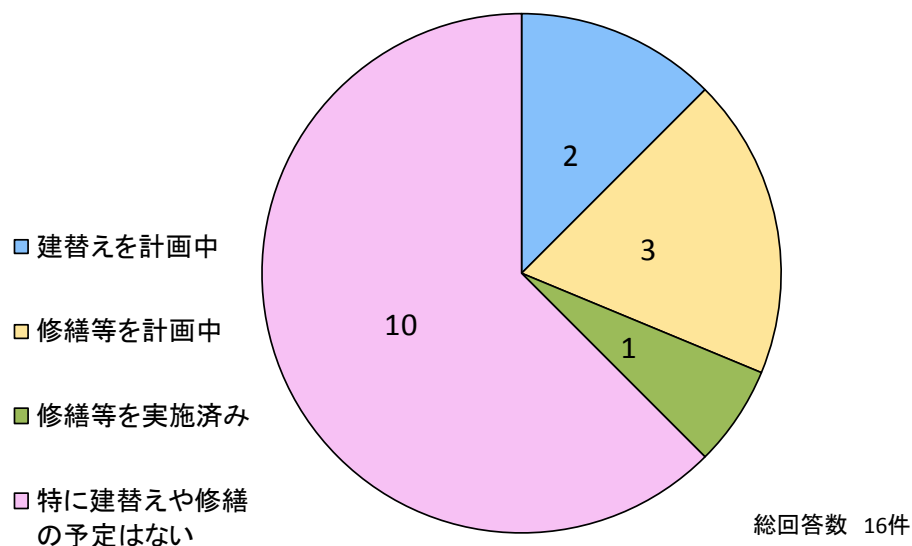
今後、施設整備を検討するにあたり、市が保有する公共施設の土地や建物を活用する意向はない幼稚園が 20 園であるのに対し、建物と土地の活用意向がある幼稚園が 2 園、土地のみ活用意向がある幼稚園が 1 園ありました。



(2) アンケート調査結果（私立保育園）

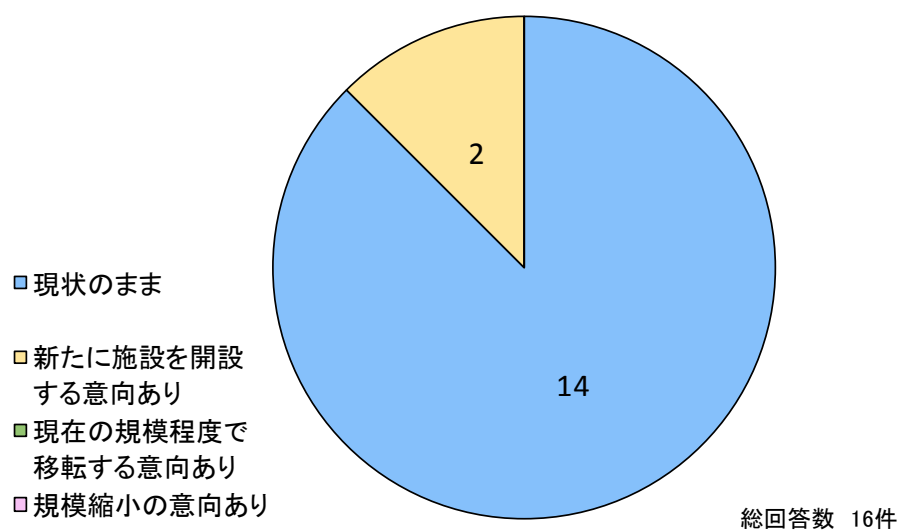
①建物の老朽化状況について

今後、建替えを計画している保育園が2園、修繕等を計画している保育園が3園あることが分かりました。



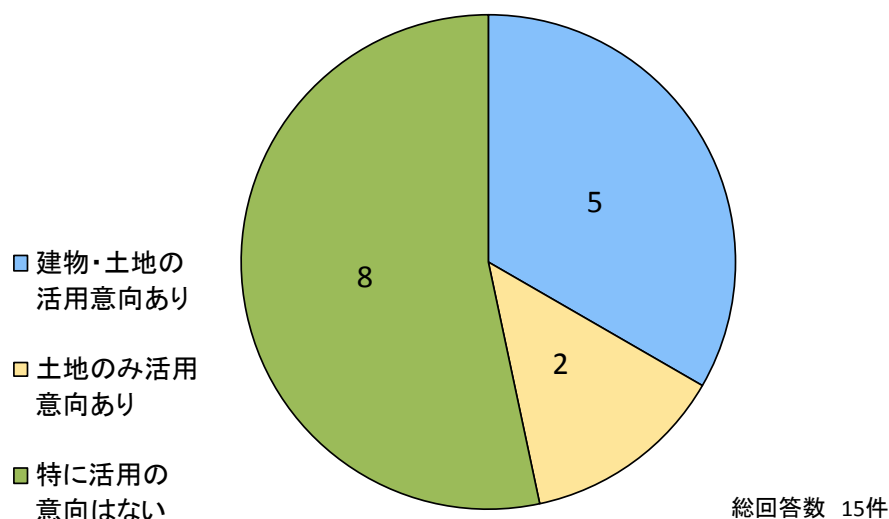
②今後の施設整備の方向性について

今後も現在の場所で、現状の規模のまま運営する意向である保育園が14園である一方で2園については、新たに施設を開設する意向があることが分かりました。



③市が保有する土地や建物を活用した施設整備について

今後、施設整備を検討するにあたり、市が保有する公共施設の土地や建物を活用する意向はない保育園が 8 園であるのに対し、建物と土地の活用意向がある保育園が 5 園、土地のみ活用意向がある保育園が 2 園ありました。



(3) アンケート調査結果のまとめ

私立幼稚園 24 園のうち 5 園が今後は保育に欠ける児童の受入を検討していることや、私立幼稚園 24 園のうち 2 園は、市が保有する建物や土地を活用した整備を行う可能性があることが分かりました。

また、私立保育園 16 園のうち 5 園についても、市が保有する建物や土地を活用した整備を行う可能性があることが分かりました。

よって、市内で既存の幼稚園や保育園を運営する民間事業者においても、私立幼稚園のこども園化による保育ニーズの受入や公立保育園の民間移管の可能性があることが確認されました。

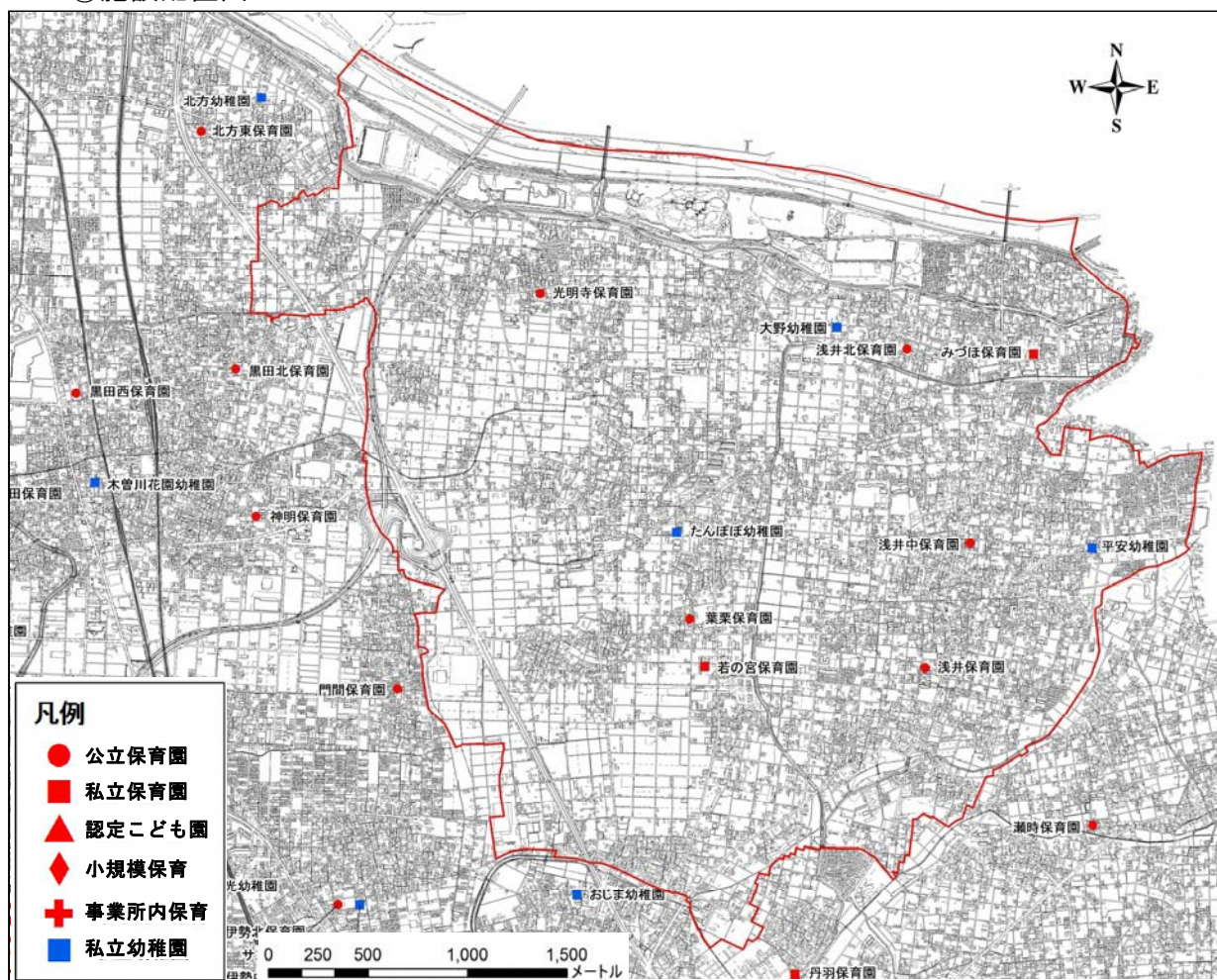
4. ブロック別の状況

(1) 北1ブロック（葉栗、浅井町）

①ブロックの状況

人 口	37,102 人（2018 年 4 月 1 日現在）
世帯数	14,711 世帯（2018 年 4 月 1 日現在）
施設	私立幼稚園 3 園、公立保育園 5 園、私立保育園 2 園、 認定こども園 0 園、地域型保育事業所 0 園

②施設配置図



③就学前児童数の推計

（単位：人）

年齢	実績値	推計値	
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)	平成 40 年 (2028 年)
0 歳	174	222 ～ 236	205 ～ 228
1 歳	222	245 ～ 259	226 ～ 250
2 歳	250	254 ～ 267	232 ～ 258
3 歳	265	257 ～ 271	235 ～ 263
4 歳	268	265 ～ 280	244 ～ 270
5 歳	290	217 ～ 217	230 ～ 243
合計	1,469	1,460 ～ 1,530	1,372 ～ 1,512

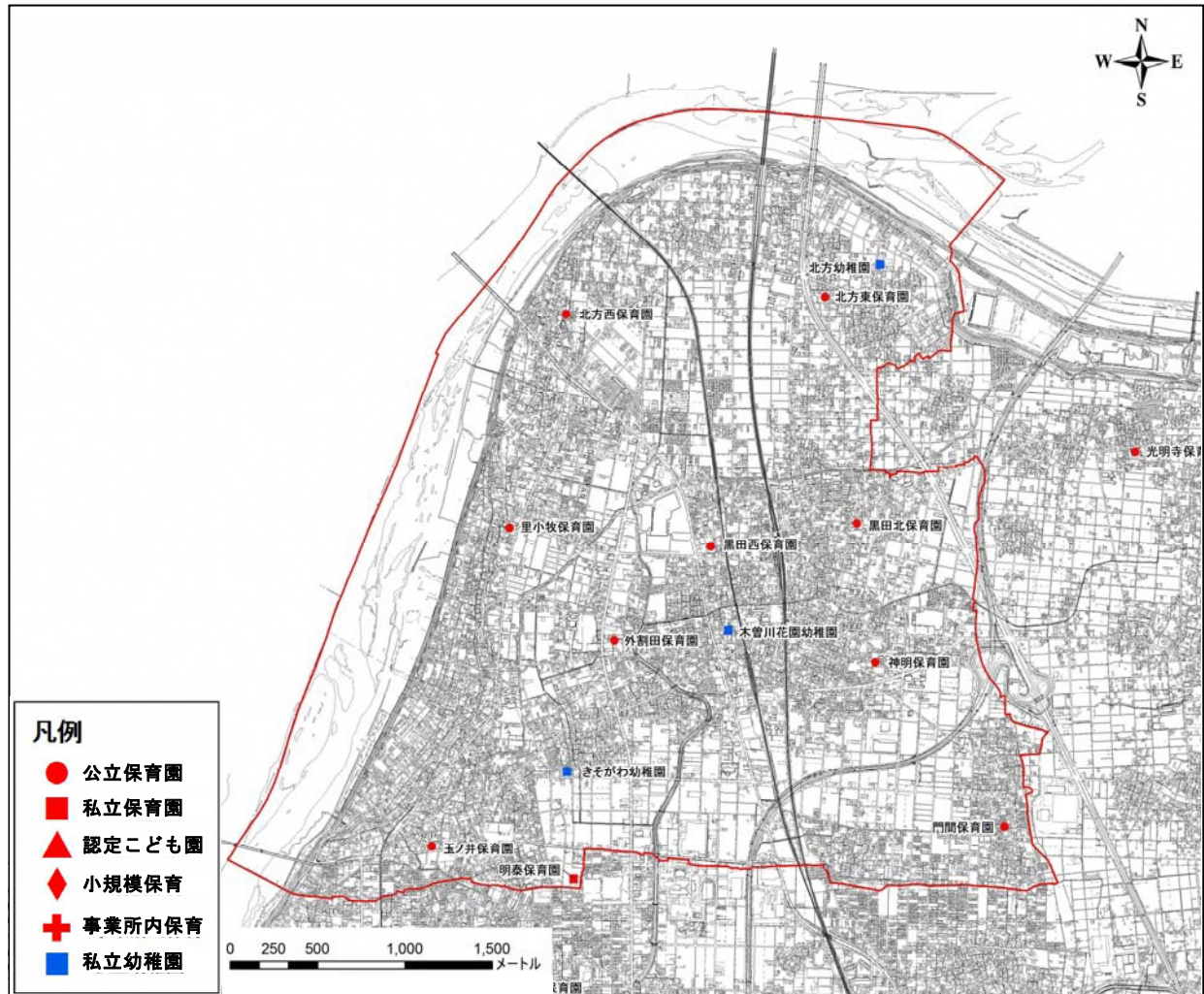
2018 年は住民基本台帳（2018 年 4 月 1 日現在）より

(2) 北2ブロック（北方町、木曽川町）

①ブロックの状況

人 口	44,121 人（2018 年 4 月 1 日現在）
世帯数	17,577 世帯（2018 年 4 月 1 日現在）
施設	私立幼稚園 3 園、公立保育園 9 園、私立保育園 1 園、 認定こども園 0 園、地域型保育事業所 0 園

②施設配置図



③就学前児童数の推計

（単位：人）

年齢	実績値	推計値	
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)	平成 40 年 (2028 年)
0 歳	357	287 ～ 304	268 ～ 298
1 歳	372	317 ～ 334	294 ～ 327
2 歳	374	326 ～ 345	303 ～ 338
3 歳	398	330 ～ 350	308 ～ 344
4 歳	384	342 ～ 361	319 ～ 354
5 歳	378	347 ～ 347	295 ～ 313
合計	2,263	1,949 ～ 2,041	1,787 ～ 1,974

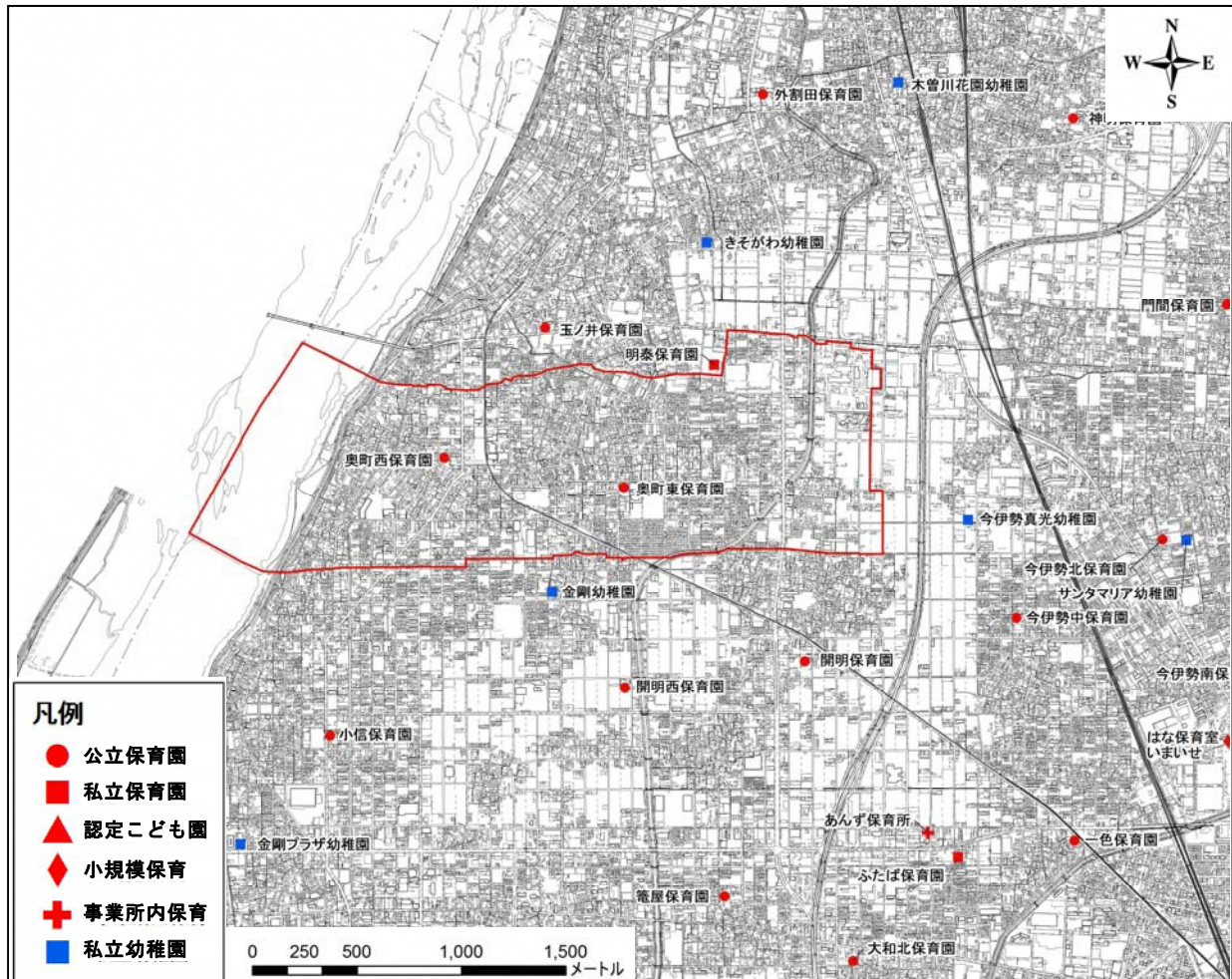
2018 年は住民基本台帳（2018 年 4 月 1 日現在）より

(3) 北3ブロック（奥町）

①ブロックの状況

人 口	14,229 人（2018 年 4 月 1 日現在）
世帯数	5,585 世帯（2018 年 4 月 1 日現在）
施設	私立幼稚園 0 園、公立保育園 2 園、私立保育園 0 園、 認定こども園 0 園、地域型保育事業所 0 園

②施設配置図



③就学前児童数の推計

（単位：人）

年齢	実績値	推計値	
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)	平成 40 年 (2028 年)
0 歳	84	97 ～ 103	89 ～ 100
1 歳	134	107 ～ 113	98 ～ 109
2 歳	107	111 ～ 117	101 ～ 113
3 歳	106	112 ～ 118	102 ～ 114
4 歳	128	116 ～ 123	107 ～ 119
5 歳	118	103 ～ 103	100 ～ 106
合計	677	646 ～ 677	597 ～ 661

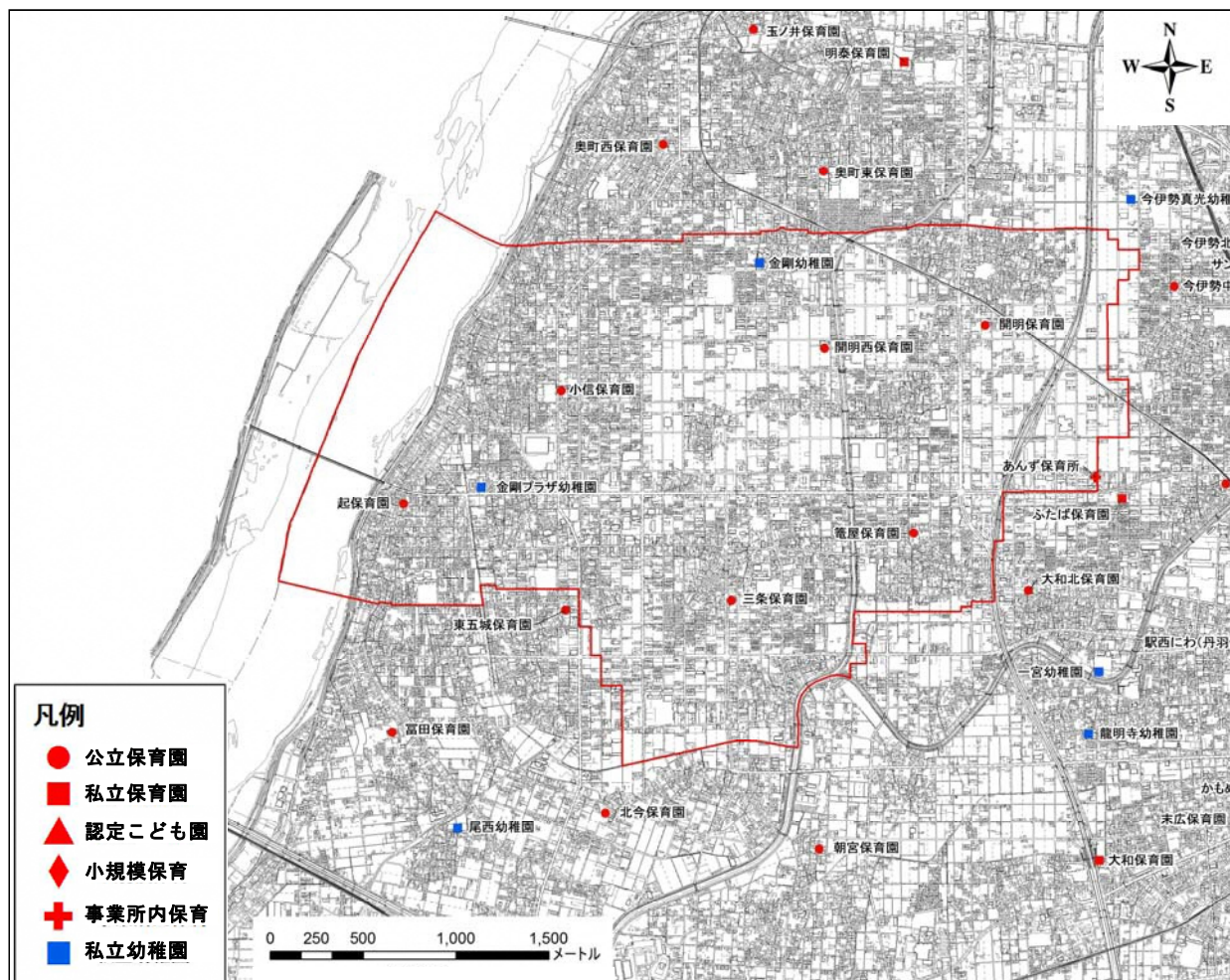
2018 年は住民基本台帳（2018 年 4 月 1 日現在）より

(4) 西1ブロック（起、小信中島、三条、開明）

①ブロックの状況

人 口	36,027 人（2018 年 4 月 1 日現在）
世帯数	14,510 世帯（2018 年 4 月 1 日現在）
施設	私立幼稚園 2 園、公立保育園 6 園、私立保育園 0 園、 認定こども園 0 園、地域型保育事業所 1 園

②施設配置図



③就学前児童数の推計

（単位：人）

年齢	実績値	推計値	
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)	平成 40 年 (2028 年)
0 歳	279	242 ～ 256	224 ～ 248
1 歳	282	267 ～ 283	245 ～ 272
2 歳	296	276 ～ 292	253 ～ 283
3 歳	305	279 ～ 296	257 ～ 286
4 歳	297	290 ～ 307	266 ～ 297
5 歳	309	268 ～ 268	250 ～ 262
合計	1,768	1,622 ～ 1,702	1,495 ～ 1,648

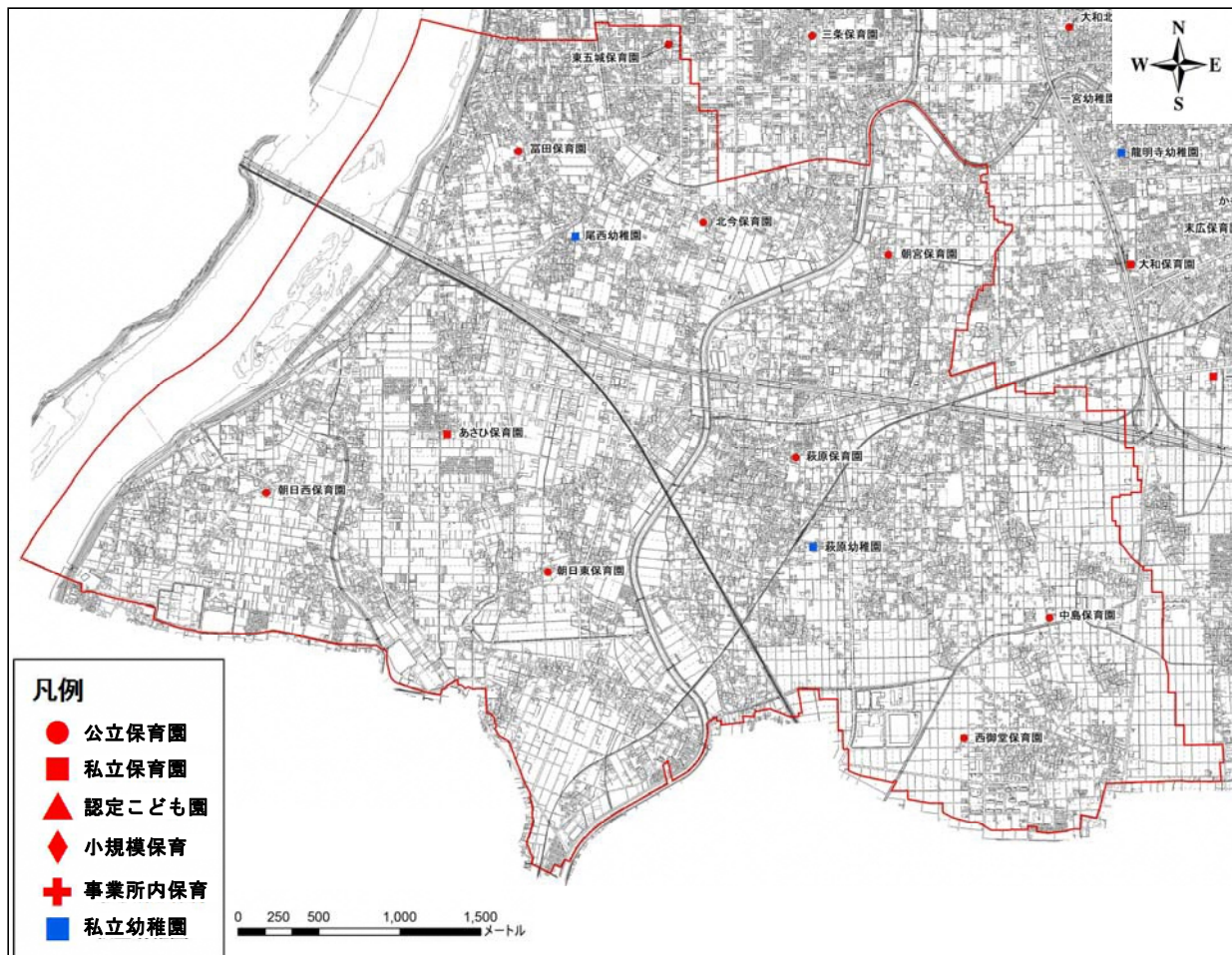
2018 年は住民基本台帳（2018 年 4 月 1 日現在）より

(5) 西2ブロック（萩原町、大徳、朝日）

①ブロックの状況

人 口	41,516 人（2018 年 4 月 1 日現在）
世帯数	16,592 世帯（2018 年 4 月 1 日現在）
施設	私立幼稚園 2 園、公立保育園 9 園、私立保育園 1 園、 認定こども園 0 園、地域型保育事業所 0 園

②施設配置図



③就学前児童数の推計

（単位：人）

年齢	実績値	推計値	
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)	平成 40 年 (2028 年)
0 歳	211	239 ～ 253	224 ～ 250
1 歳	244	264 ～ 279	247 ～ 274
2 歳	267	272 ～ 288	253 ～ 282
3 歳	288	276 ～ 291	257 ～ 286
4 歳	296	287 ～ 301	266 ～ 297
5 歳	313	240 ～ 240	246 ～ 261
合計	1,619	1,578 ～ 1,652	1,493 ～ 1,650

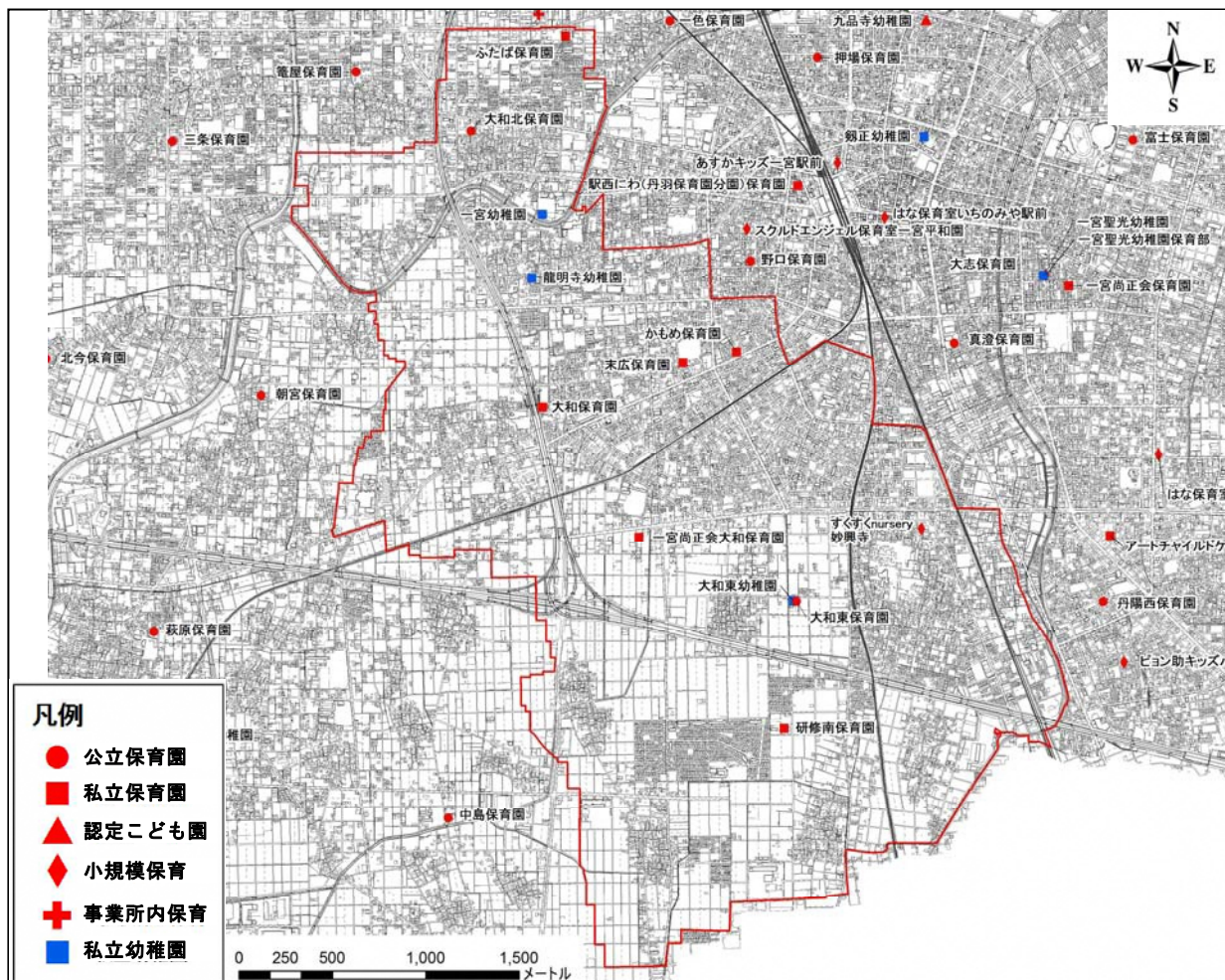
2018 年は住民基本台帳（2018 年 4 月 1 日現在）より

(6) 西3ブロック (大和町)

① ブロックの状況

人 口	42,506 人 (2018 年 4 月 1 日現在)
世帯数	17,927 世帯 (2018 年 4 月 1 日現在)
施設	私立幼稚園 3 園、公立保育園 2 園、私立保育園 6 園、 認定こども園 0 園、地域型保育事業所 1 園

② 施設配置図



③ 就学前児童数の推計

(単位：人)

年齢	実績値	推計値	
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)	平成 40 年 (2028 年)
0 歳	336	286 ～ 302	265 ～ 296
1 歳	367	314 ～ 332	291 ～ 325
2 歳	372	324 ～ 342	301 ～ 335
3 歳	375	328 ～ 347	304 ～ 340
4 歳	371	340 ～ 360	316 ～ 352
5 歳	435	336 ～ 336	293 ～ 310
合計	2,256	1,928 ～ 2,019	1,770 ～ 1,958

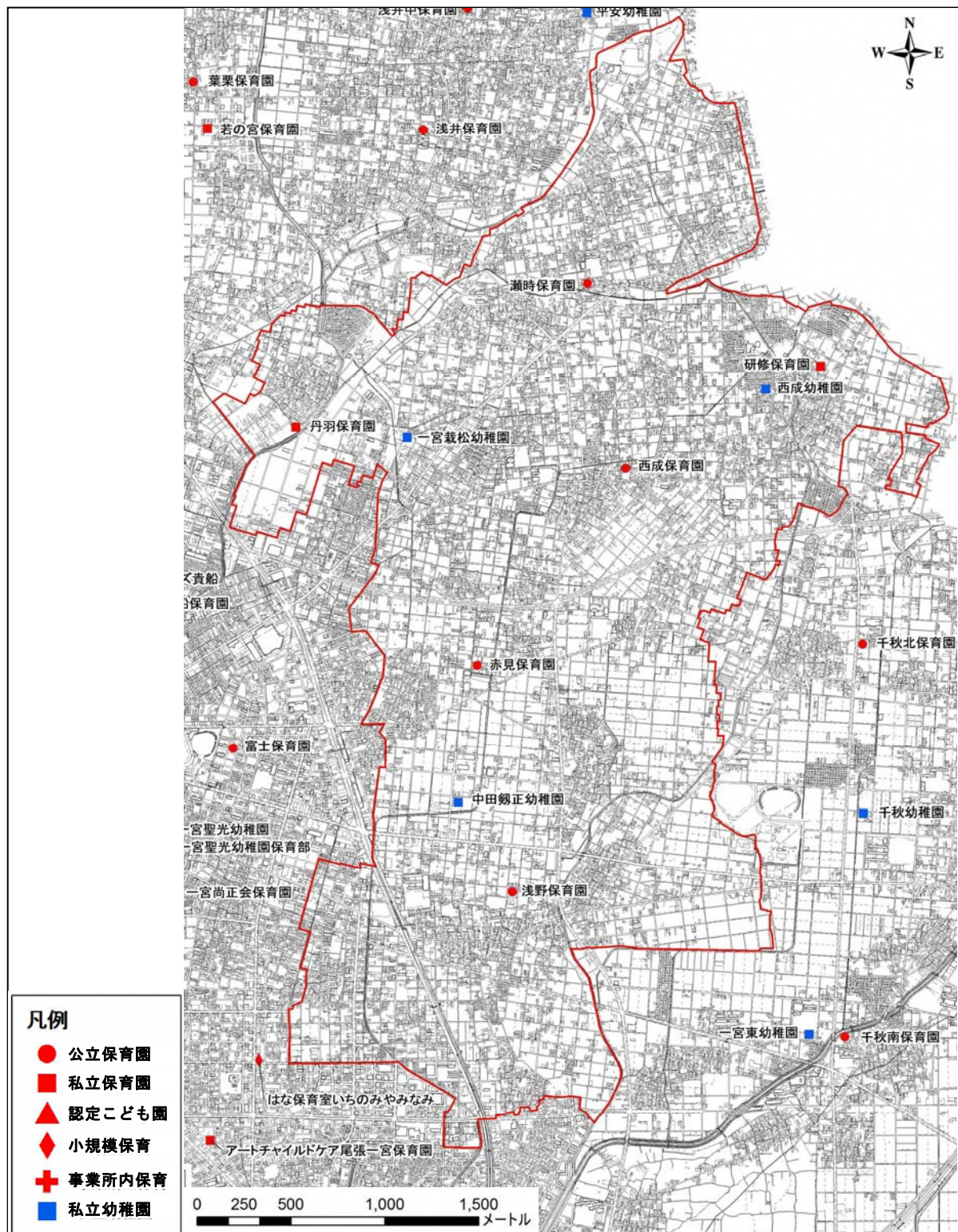
2018 年は住民基本台帳 (2018 年 4 月 1 日現在) より

(7) 東1ブロック（西成）

①ブロックの状況

人 口	35,029 人（2018 年 4 月 1 日現在）
世帯数	14,066 世帯（2018 年 4 月 1 日現在）
施設	私立幼稚園 3 園、公立保育園 4 園、私立保育園 2 園、 認定こども園 0 園、地域型保育事業所 0 園

②施設配置図



③就学前児童数の推計

(単位：人)

年齢	実績値	推計値			
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)		平成 40 年 (2028 年)	
0 歳	233	216	～ 228	201	～ 224
1 歳	260	237	～ 251	220	～ 246
2 歳	291	246	～ 259	228	～ 254
3 歳	288	249	～ 263	231	～ 257
4 歳	326	258	～ 272	239	～ 266
5 歳	323	257	～ 257	222	～ 235
合計	1,721	1,463	～ 1,530	1,341	～ 1,482

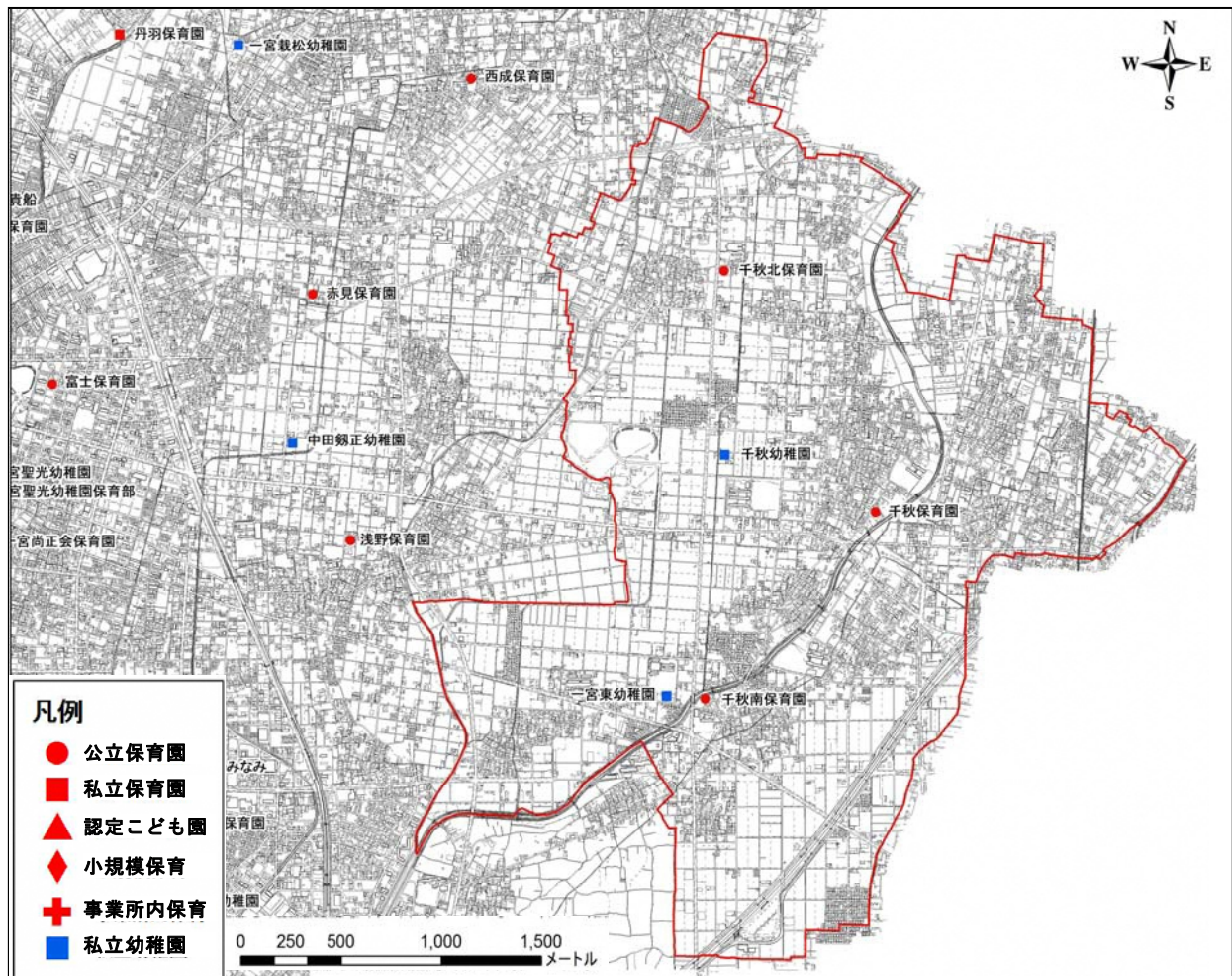
2018 年は住民基本台帳（2018 年 4 月 1 日現在）より

(8) 東2ブロック (千秋町)

① ブロックの状況

人 口	17,476 人 (2018 年 4 月 1 日現在)
世帯数	6,692 世帯 (2018 年 4 月 1 日現在)
施設	私立幼稚園 2 園、公立保育園 3 園、私立保育園 0 園、 認定こども園 0 園、地域型保育事業所 0 園

② 施設配置図



③ 就学前児童数の推計

(単位：人)

年齢	実績値	推計値	
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)	平成 40 年 (2028 年)
0 歳	98	108 ～ 114	102 ～ 114
1 歳	141	119 ～ 126	112 ～ 125
2 歳	138	123 ～ 129	115 ～ 129
3 歳	121	124 ～ 131	117 ～ 130
4 歳	161	129 ～ 136	121 ～ 135
5 歳	162	122 ～ 122	112 ～ 118
合計	821	725 ～ 758	679 ～ 751

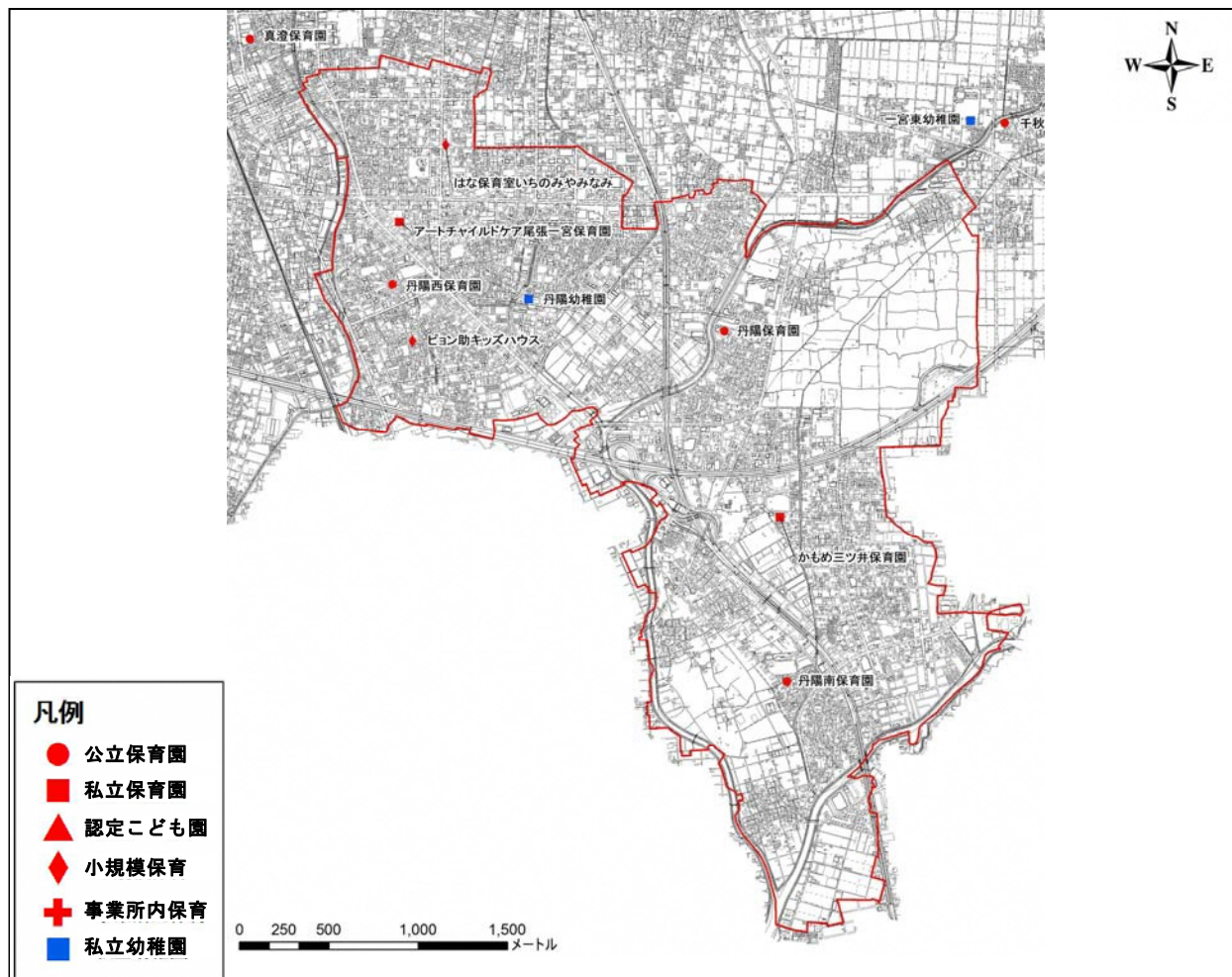
2018 年は住民基本台帳 (2018 年 4 月 1 日現在) より

(9) 東3ブロック (丹陽町)

① ブロックの状況

人 口	28,404 人 (2018 年 4 月 1 日現在)
世 帯 数	12,022 世帯 (2018 年 4 月 1 日現在)
施 設	私立幼稚園 1 園、公立保育園 3 園、私立保育園 2 園、 認定こども園 0 園、地域型保育事業所 2 園

② 施設配置図



③ 就学前児童数の推計

(単位：人)

年 齢	実績値	推計値	
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)	平成 40 年 (2028 年)
0 歳	271	209 ～ 221	194 ～ 217
1 歳	270	230 ～ 243	214 ～ 239
2 歳	321	236 ～ 250	220 ～ 246
3 歳	305	240 ～ 254	224 ～ 249
4 歳	329	248 ～ 263	231 ～ 258
5 歳	298	275 ～ 275	214 ～ 227
合計	1,794	1,438 ～ 1,506	1,297 ～ 1,436

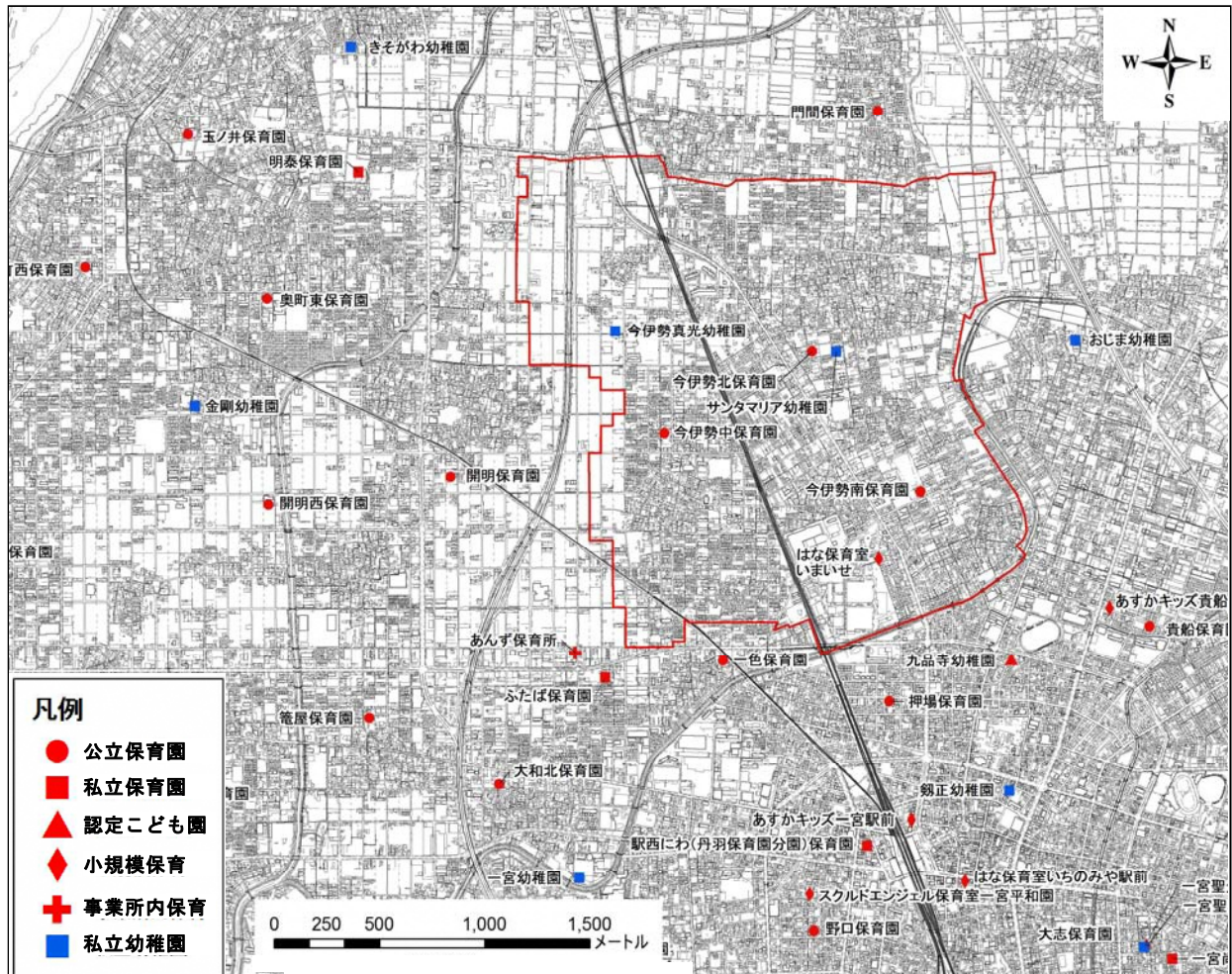
2018 年は住民基本台帳 (2018 年 4 月 1 日現在) より

(10) 中1ブロック (今伊勢町)

①ブロックの状況

人 口	26,505 人 (2018 年 4 月 1 日現在)
世帯数	11,177 世帯 (2018 年 4 月 1 日現在)
施設	私立幼稚園 2 園、公立保育園 3 園、私立保育園 0 園、 認定こども園 0 園、地域型保育事業所 1 園

②施設配置図



③就学前児童数の推計

(単位：人)

年齢	実績値	推計値	
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)	平成 40 年 (2028 年)
0 歳	239	182 ～ 193	170 ～ 190
1 歳	276	201 ～ 212	187 ～ 209
2 歳	269	207 ～ 219	193 ～ 215
3 歳	236	210 ～ 222	196 ～ 218
4 歳	241	217 ～ 230	203 ～ 226
5 歳	236	232 ～ 232	187 ～ 199
合計	1,497	1,249 ～ 1,308	1,136 ～ 1,257

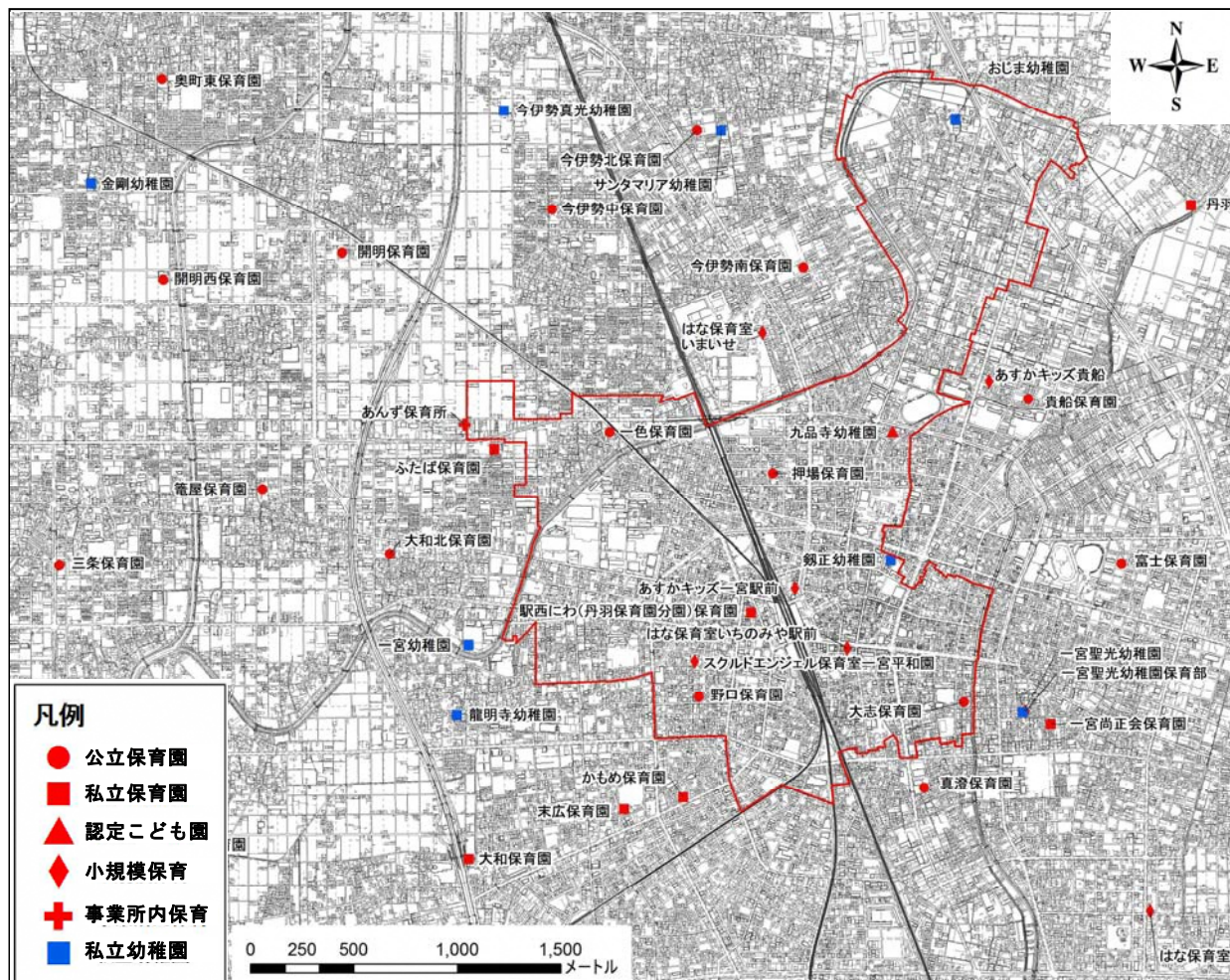
2018 年は住民基本台帳 (2018 年 4 月 1 日現在) より

(1 1) 中 2 ブロック (宮西、神山、大志)

① ブロックの状況

人 口	32,082 人 (2018 年 4 月 1 日現在)
世帯数	14,272 世帯 (2018 年 4 月 1 日現在)
施設	私立幼稚園 2 園、公立保育園 4 園、私立保育園 1 園、 認定こども園 1 園、地域型保育事業所 3 園

② 施設配置図



③ 就学前児童数の推計

(単位：人)

年齢	実績値	推計値	
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)	平成 40 年 (2028 年)
0 歳	250	213 ～ 223	192 ～ 214
1 歳	254	232 ～ 246	212 ～ 236
2 歳	255	239 ～ 253	217 ～ 244
3 歳	273	244 ～ 258	221 ～ 247
4 歳	266	252 ～ 266	229 ～ 255
5 歳	282	238 ～ 238	216 ～ 229
合計	1,580	1,418 ～ 1,484	1,287 ～ 1,425

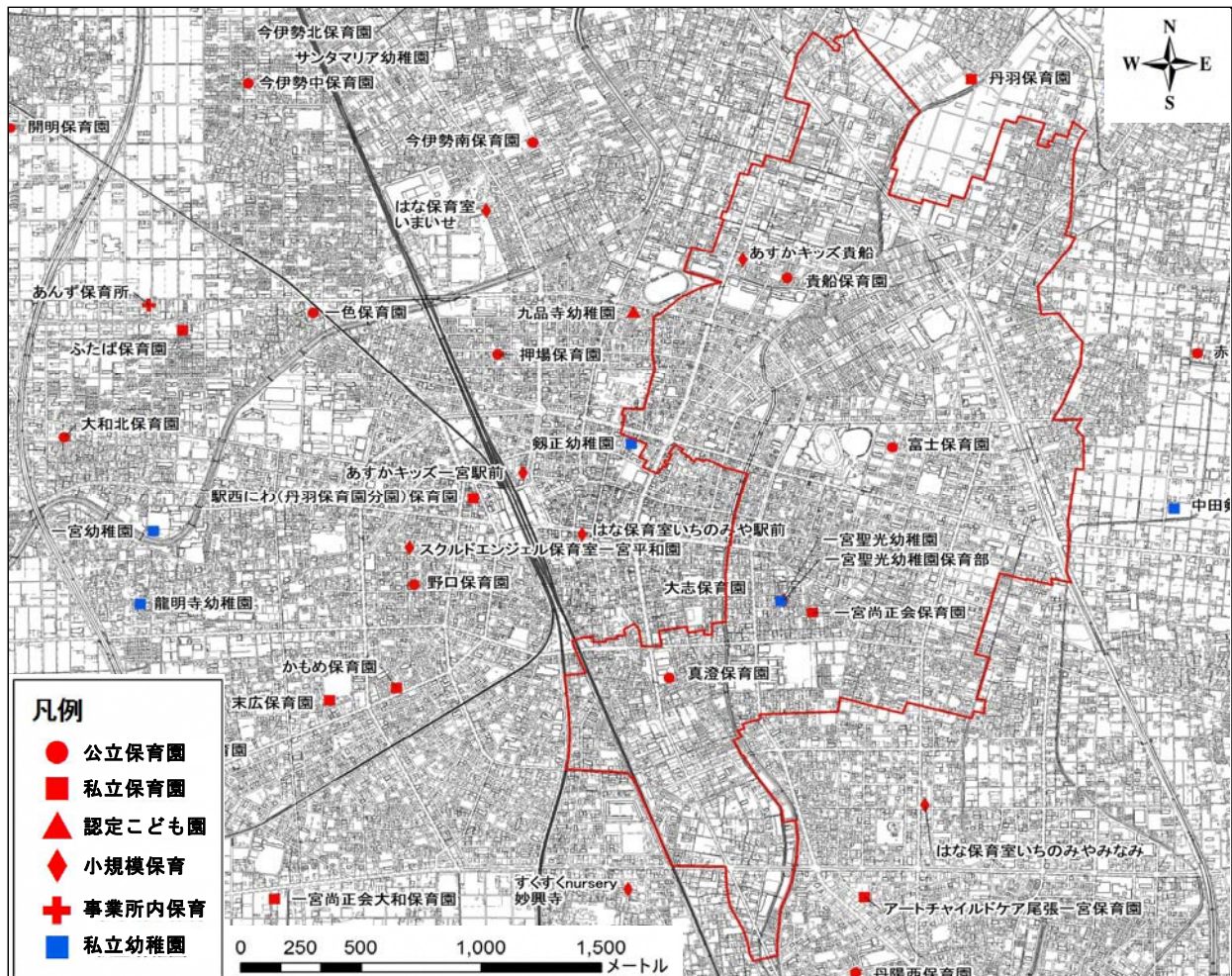
2018 年は住民基本台帳 (2018 年 4 月 1 日現在) より

(1 2) 中 3 ブロック (貴船、向山、富士)

① ブロックの状況

人 口	30,780 人 (2018 年 4 月 1 日現在)
世 帯 数	13,403 世帯 (2018 年 4 月 1 日現在)
施 設	私立幼稚園 1 園、公立保育園 3 園、私立保育園 1 園、 認定こども園 0 園、地域型保育事業所 1 園

② 施設配置図



③ 就学前児童数の推計

(単位：人)

年齢	実績値	推計値	
	平成 30 年 (2018 年)	平成 35 年 (2023 年)	平成 40 年 (2028 年)
0 歳	233	209 ～ 220	196 ～ 219
1 歳	268	230 ～ 242	216 ～ 241
2 歳	241	238 ～ 252	222 ～ 248
3 歳	276	242 ～ 255	226 ～ 251
4 歳	261	249 ～ 263	234 ～ 260
5 歳	260	235 ～ 235	215 ～ 227
合計	1,539	1,403 ～ 1,467	1,309 ～ 1,446

2018 年は住民基本台帳 (2018 年 4 月 1 日現在) より



一宮市保育所等施設総合管理計画

平成 31 年 3 月

・ 発 行	一宮市
・ 編 集	こども部 保育課
	〒491-8501 一宮市本町 2 丁目 5 番 6 号
	TEL 0586(28)9024
	FAX 0586(73)9123
